



University of the Ryukyus Library Bulletin Vol.27 No.4(No.104) Oct 1994

図書館に関するアンケート調査票 (学生用) の集計結果について

前号では教員を対象としたアンケート調査の集計結果について報告を行ったが、本号では学生を対象としたアンケート調査の集計結果について報告する。アンケートは平成6年1月17日(月)から21日(金)までの間に千原キャンパスの本館と医学部キャンパスの分館(以下、「医分館」という。)とで来館時に入口で利用者にアンケート用紙を手渡し、退館時に出口で回収する方法で行った。回答率は、本館60.5%、医分館73.1%だった。なお、学生用アンケート用紙での回答の中には学外者(卒業生、放送大学学生、社会人等)を含んでいる。

A. 集計結果の見方等

学生に対するアンケートの回答結果を学部別にみると以下のようなになる。

学部	配布数	回答数	回答率
(本館)	2,195		
法文学部		502	
教育学部		192	
理学部		254	
医学部		70	
工学部		128	
農学部		82	
短期大学部		28	
その他		72	
(聴講生5、学外者67)			

白紙回答	合計	回答率
52	1,328	60.5%
(白紙分除く)		
(医分館)	190	
医学部	136	
法文学部	2	
教育学部	1	
合計	139	73.1%

以下、各質問についての集計は本館と医分館とに分けて行っている。

医学部、法文学部、教育学部の学生は本館あるいは医分館を利用している場合があるが、それぞれ利用した場所での集計としてまとめている。

目次	頁
図書館に関するアンケート調査票	
(学生用) の集計結果について	1
増築移転後の資料配置について	18
沖縄関係資料新着案内	23
お知らせ	28
本学教官著作寄贈図書案内	29
図書館事情	29
医学部分館だより	30

○回答の集計方法

集計は以下のように、本館は上記本館回答数から学外者分を除いたものとしてまとめ、医分館と学外者を別個立てにしてまとめている。

【質問4の回答例】

	a.	b.	c.	d.	e.	f.
本館	186	491	271	222	37	49
	14.8%	38.9%	21.5%	17.6%	2.9%	3.9%
医分館	52	50	25	10	1	1
	37.4%	36.0%	18.0%	7.2%	0.7%	0.7%
学外者	15	18	10	6	1	14
	22.4%	26.9%	14.9%	9.0%	1.5%	20.9%

	未回答	合計	
本館	5	1,261	→ 回答者数
	0.4%		→ 合計に対する比率
医分館	0	139	→ 回答者数
	0.0%		→ 合計に対する比率
学外者	3	67	
	4.5%		

なお、本館については、必要に応じて6学部と短期大学部について内訳として示している。

各質問についての集計結果は本稿では上記のような数値ではなくグラフ化して表している。また、目盛りあるいは数値は特にことわらないかぎり百分率である。

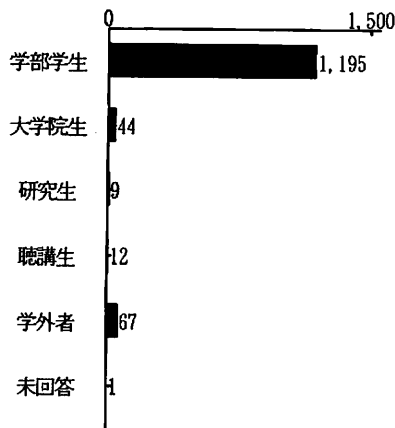
B. 質問と集計結果

1. あなたの身分は次のどれに該当しますか。

- a. 学部学生 b. 大学院生 c. 研究生 d. 聴講生
- e. 学外者 (学生、社会人、放送大学学生)

本館の回答者1,328人中1,195人(90%)が学部学生である。(グラフ1) なお、数字は人数を表している。

また、医分館の回答者139人はすべて学部学生である。

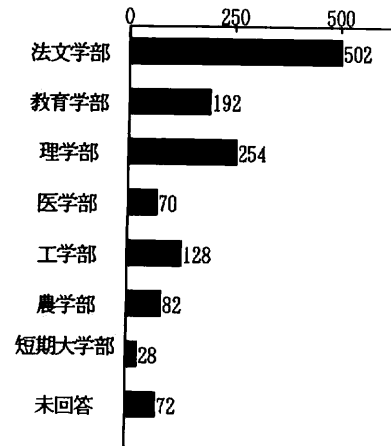


グラフ 1

2. あなたの所属は次のどれに該当しますか。

- a. 法文学部 b. 教育学部 c. 理学部 d. 医学部
- e. 工学部 f. 農学部 g. 短期大学部

本館を利用する学生が所属する学部の内訳はグラフ2に示すとおり(数字は人数を示す)。未回答72は学外者(67)と聴講生(5)である。また、医分館での所属学部の内訳は、法文学部2、教育学部1、残り136が医学部である。



グラフ 2

3. あなたの年次は次のどれに該当しますか。

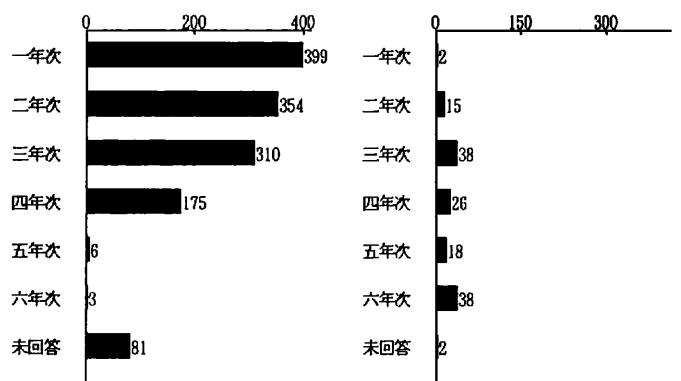
- a. 一年次 b. 二年次 c. 三年次 d. 四年次
- e. 五年次 f. 六年次

本館では、一年次(30%)、二年次(26.7%)、三年次(23.3%)、四年次(13.2%)の順(グラフ3-1)となっており、医分館では、三年次及び六年次(それぞれ27.3%)、四年次(18.7%)、五年次(12.9%)の順(グラフ3-2)となっている。

グラフの数字は人数を示す。

【本館】

【医分館】



グラフ 3-1

グラフ 3-2

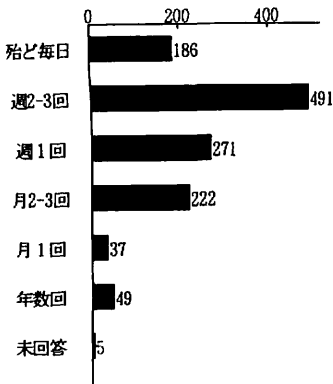
4. どの程度図書館を利用しますか。

- a. 殆ど毎日 b. 週に2~3回 c. 週に1回
- d. 月に2~3回 e. 月に1回 f. 年に数回

本館では、週に2~3回(38.9%)、週1回(21.5%)、月に2~3回(17.6%)、殆ど毎日(14.8%)の順(グラフ4-1)で、医分館では、殆ど毎日(37.4%)、週に2~3回(36%)、週に1回(18%)、月に2~3回(7.2%)の順(グラフ4-2)となっている。

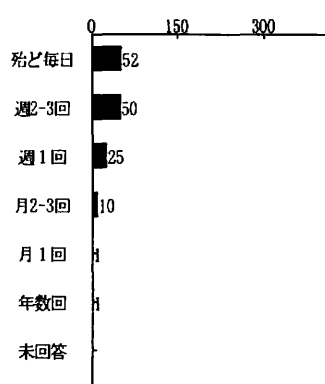
また、学外者は、週に2～3回(26.9%)、殆ど毎日(22.4%)、年に数回(20.9%)、週に1回(14.9%)、月に2～3回(9.0%)の順(グラフ4-3)の順となっている。
グラフの数字は人数を示す。

【本館】



グラフ 4-1

【医分館】



グラフ 4-2

【学外者】



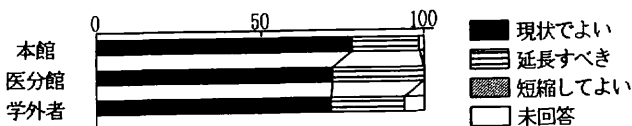
グラフ 4-3

5. 開館時間についてどう思いますか。

- 1) 月曜日～金曜日 a. 現状でよい b. 延長すべきである
c. 短縮してよい

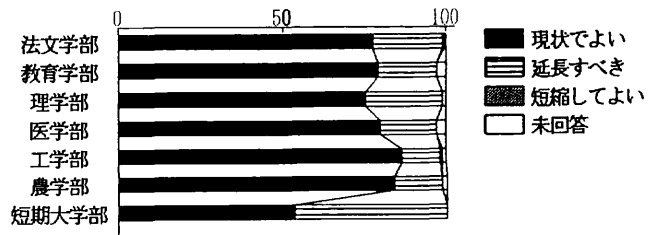
本館、医分館、学外者とも「現状でよい」が70%以上で、「延長すべきである」が20%前後の数字となっている。本館の中で短期大学部だけは「現状でよい」が53.6%、「延長すべき」が46.4%と比率が拮抗している。

【全体】



グラフ 5-1(a)

【本館内訳】

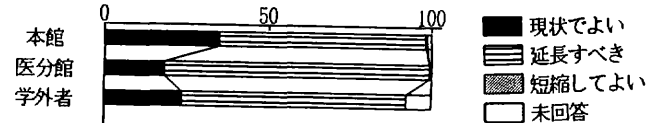


グラフ 5-1(b)

- 2) 土曜日 a. 現状でよい b. 延長すべきである
c. 短縮してよい

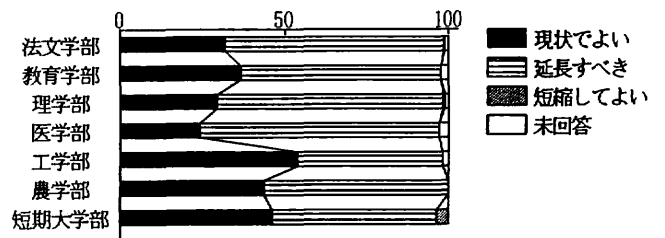
本館の中で「現状でよい」が工学部は50%を超えており、短期大学部(46.4%)、農学部(43.9%)が続いている。医分館では「現状でよい」が18.7%で本館全体の35.2%と比べかなり低い数字となっている。「延長すべきである」が本館全体で63.3%、医分館で80.6%、学外者68.7%となっており、土曜日の開館時間延長を望む声は多い。

【全体】



グラフ 5-2(a)

【本館内訳】

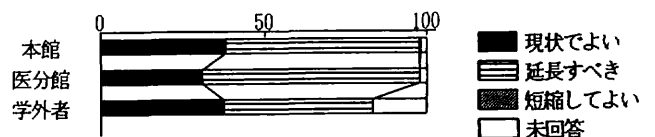


グラフ 5-2(b)

- 3) 試験期の日曜日、祝日 a. 現状でよい b. 延長すべきである
c. 短縮してよい

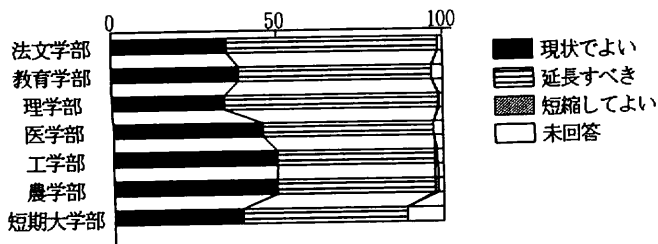
本館の中では「現状でよい」が工学部、農学部が50%でその他は40%前後の数字となっている。医分館では「現状でよい」が30.9%となっており、本館全体の38.5%より低い。「延長すべきである」は本館全体で59.5%、医分館で66.9%となっており、試験期の日曜日、祝日の開館延長は6～7割の学生が望んでいる。

【全体】



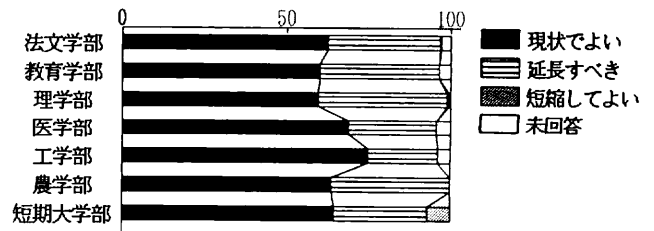
グラフ 5-3(a)

【本館内訳】



グラフ 5-3(b)

【本館内訳】



グラフ 5-4(b)

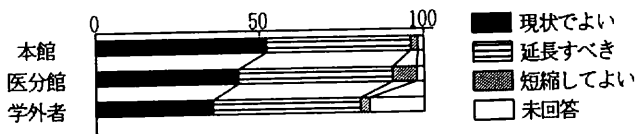
4) 夏休み等の休業期

- a. 現状でよい
- b. 延長すべきである
- c. 短縮してよい

本館の中では「現状でよい」が工学部69.5%、農学部57.3%、短期大学部53.6%、理学部53.5%と、この順で5割以上の数字となっている。医分館では「現状でよい」が43.9%で本館全体の52.3%より低い数字となっている。「延長すべきである」が本館全体で43.8%、医分館で46.8%で、夏休み等の休業期の開館時間延長は45%前後の学生が望んでいることがわかる。

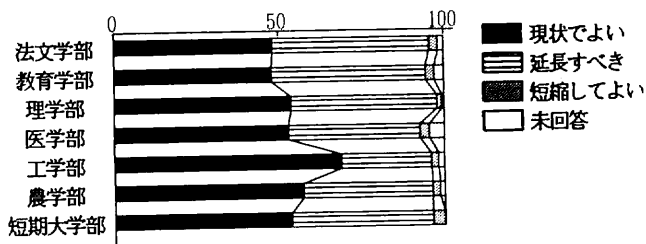
なお、学外者は「現状でよい」が35.8%、「延長すべきである」が44.8%で延長を望む声のほうがいくらか多い。

【全体】



グラフ 5-4(a)

【本館内訳】



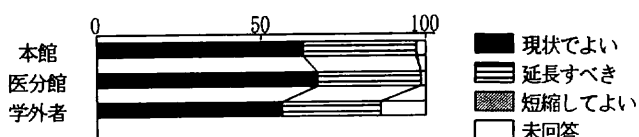
グラフ 5-4(b)

- 5) 書庫の利用時間 a. 現状でよい b. 延長すべきである
- c. 短縮してよい

「現状でよい」が本館全体で63.0%、医分館で67.6%となっており、「延長すべきである」が本館全体で34.1%、医分館で30.9%となっている。書庫の利用時間については、6割程度の学生が現状で満足しており、3割程度が改善を望んでいる。

また、学外者も同様の結果となっている。

【全体】



グラフ 5-4(a)

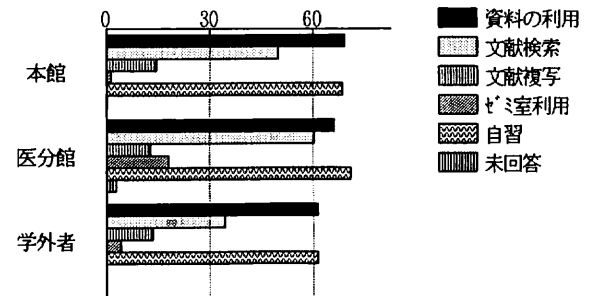
6. 図書館を利用する主な目的は何ですか。(複数回答可)

- a. 資料の利用
- b. 文献検索
- c. 文献複写
- d. ゼミ室/個室の利用
- e. 自習

本館の中では、「資料の利用」もしくは「自習」が1位ないし2位を占めている学部が多い。教育学部と農学部の2学部だけは、2位にそれ以外の「文献検索」が入っている。本館全体では、「資料の利用」と「自習」がそれぞれ69.5%、68.8%を占めほぼ同数であるのに対し、医分館では、「自習」が71.2%で、「資料の利用」の66.2%を上回っている。

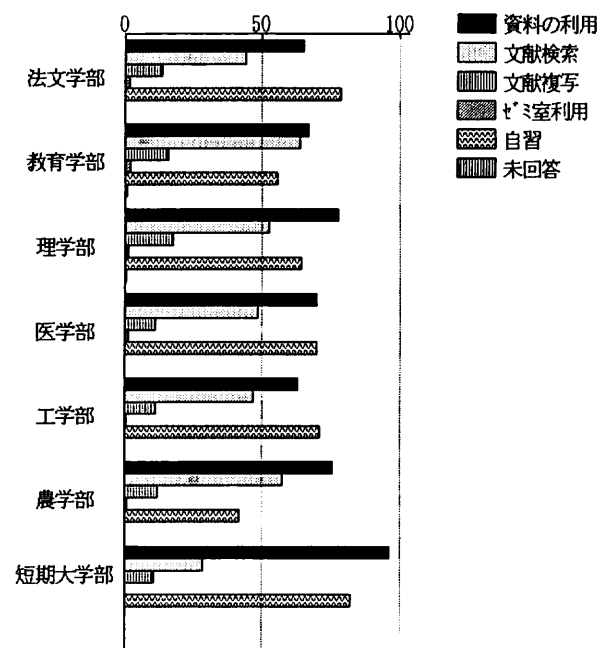
学外者では、「資料の利用」と「自習」が61.2%と同率1位で、「文献検索」が24.2%と続いている。

【全体】



グラフ 6(a)

【本館内訳】



グラフ 6(b)

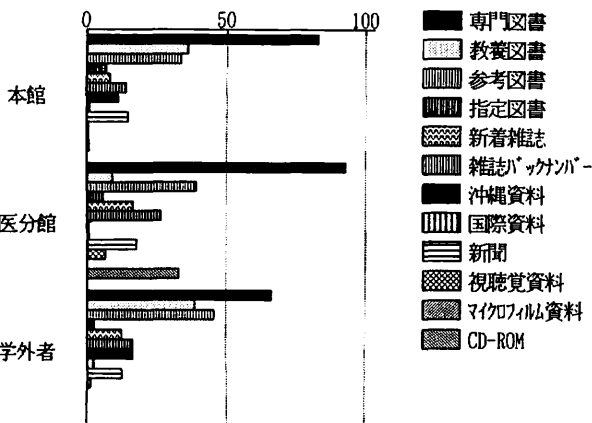
7. 図書館でよく利用する資料は何ですか。(複数回答可)

- a. 専門図書 b. 教養図書 c. 参考図書(辞書、辞典、年鑑など)
- d. 指定図書 e. 新着雑誌
- f. 雑誌バックナンバー g. 沖縄関係資料
- h. 国際関係資料(国連資料、EC資料など) i. 新聞
- j. 視聴覚資料(ビデオテープなど)
- k. マイクロフィルム資料 l. CD-ROM

本館では、各学部のほとんどが「専門図書」、「教養図書」、「参考図書」の順で図書館資料をよく利用している。本館全体でも同様である。それに対し、医分館では、利用傾向が本館とやや異なり、「専門図書」、「参考図書」、「CD-ROM」の順になっており、「雑誌バックナンバー」の利用も多い。

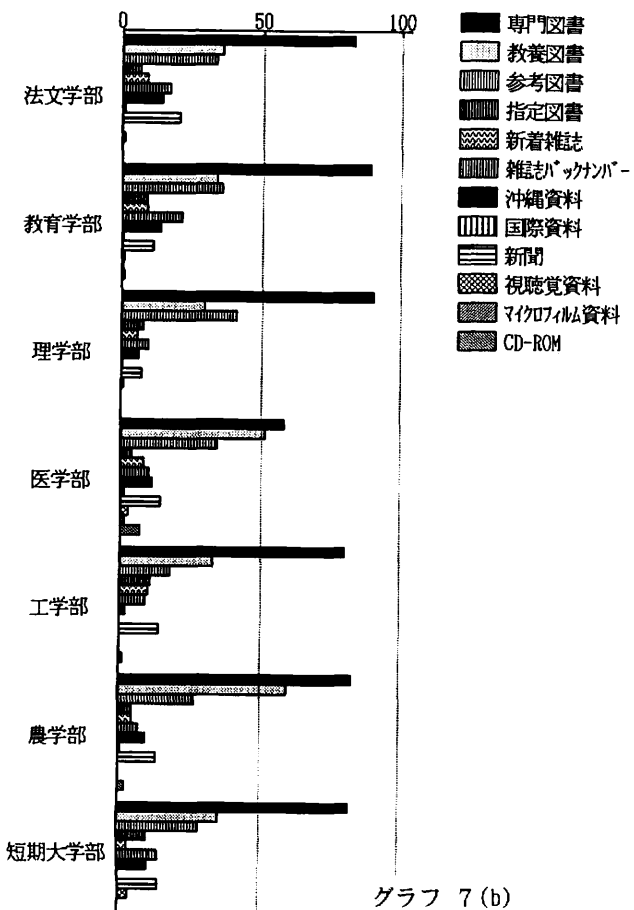
また、学外者は「専門図書」、「参考図書」、「教養図書」の順で利用が多い。

【全体】



グラフ 7(a)

【本館内訳】



グラフ 7(b)

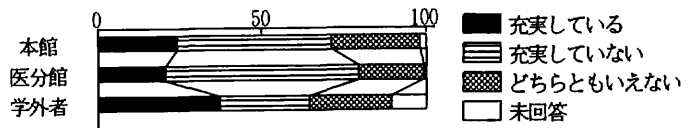
8. 大学図書館として必要な資料は充実していると思いますか。

- 1) 専門図書 a. 充実している b. 充実していない c. どちらともいえない

本館の短期大学部と学外者が「充実している」が「充実していない」を上回っているほかは、すべてその逆となっている。

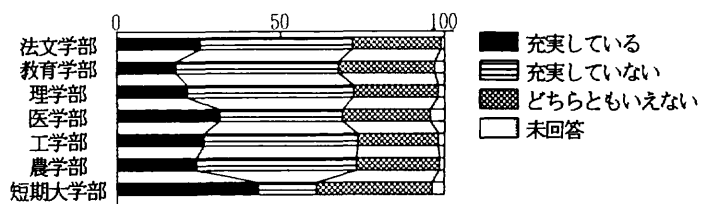
全体で見ると、本館は「充実していない」が「充実している」の1.9倍であるのに対し、医分館はそれが2.8倍となっている。医分館を利用する学生の方が、専門図書の充実に対する不満を持っている比率が高い。

【全体】



グラフ 8-1(a)

【本館内訳】



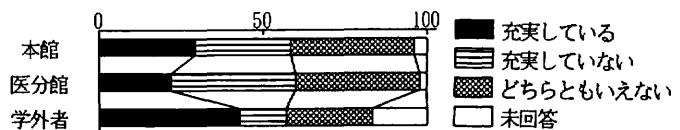
グラフ 8-1(b)

- 2) 教養図書 a. 充実している b. 充実していない c. どちらともいえない

「充実している」が、学外者(43.3%)、工学部(39.8%)、医学部(35.7%)の順で多く、本館全体では、約3割を占めている。また、「充実していない」も、約3割で同等である。これに対し、医分館では「充実している」が22.3%で、「充実していない」の37.3%よりかなり低い数字となっている。

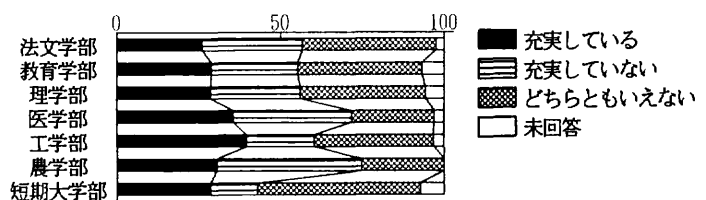
医分館を利用する学生の方が、教養図書について充実していないと思っている比率が高い。

【全体】



グラフ 8-2(a)

【本館内訳】



グラフ 8-2(b)

3) 参考図書 (辞典、事典、年鑑など)

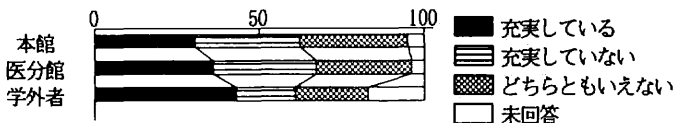
- a. 充実している b. 充実していない
c. どちらともいえない

本館の中では法文学部、農学部、短期大学部を除いては、「充実している」が「充実していない」を上回っている。本館全体では、「充実している」、「充実していない」、「どちらともいえない」がほぼ同数の3割近くで並んでいる。

医分館では、「充実している」が36%で、「充実していない」の31.7%をやや上回っている。

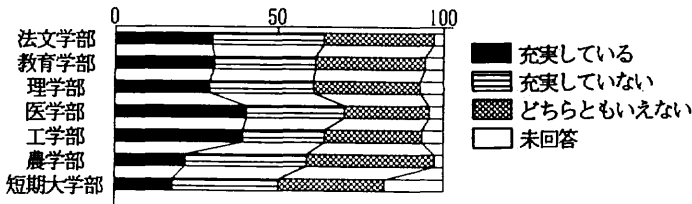
学外者は、「充実している」が38.8%、「充実していない」が43.3%をやや不満の声のほうが多い。

【全体】



グラフ 8-3(a)

【本館内訳】



グラフ 8-3(b)

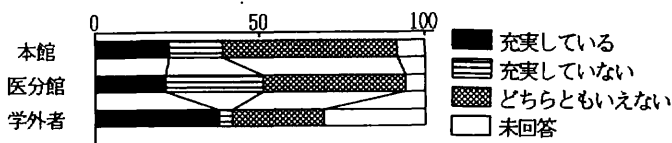
4) 指定図書

- a. 充実している b. 充実していない
c. どちらともいえない

本館の中では「充実している」が、医学部(31.4%)、工学部(28.1%)、教育学部(24%)、理学部(23.6%)の順で多く、農学部(12.2%)はもっとも少ない。

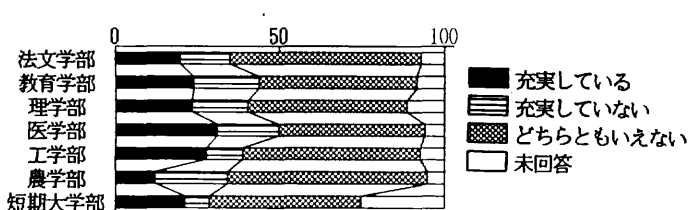
本館では、「充実している」が22.4%、「充実していない」が16.1%で、両方合わせても「どちらともいえない」の53.1%より15%近く少ない。指定図書についての関心はあまり高くないように思える。一方、医分館では「充実している」が21.6%、「充実していない」が29.5%で、「どちらともいえない」が43.2%となっており、指定図書の充足について不満の声の方が多い。

【全体】



グラフ 8-4(a)

【本館内訳】



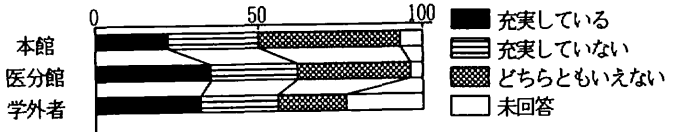
グラフ 8-4(b)

5) 新着雑誌

- a. 充実している b. 充実していない
c. どちらともいえない

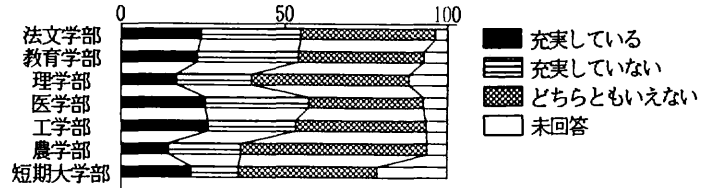
「充実している」が本館の各学部では20%を境に±5%以内にはほぼ収まっており、全体でも22%であるのに対し、医分館では35%となっている。また、「充実していない」が本館全体では27.7%、医分館は26.6%で、本館は「充実している」より高い数字となっているのに対し、医分館はその逆となっている。本館では新着図書の充実についての評価が低いのに対し、医分館ではそれが高い。

【全体】



グラフ 8-5(a)

【本館内訳】



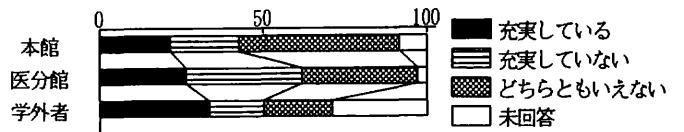
グラフ 8-5(b)

6) 雑誌バックナンバー

- a. 充実している b. 充実していない
c. どちらともいえない

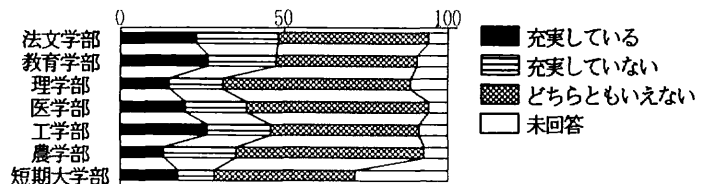
「充実している」が本館では21.6%で、医分館では26.6%である。「充実していない」が本館では21%、医分館では35.5%で、本館では「充実している」と「充実していない」がほぼ同数であるのに対し、医分館では「充実していない」のほうに9%上回っている。雑誌バックナンバーの充実については、本館ではある程度評価されているが、医分館では不十分であると思われる。

【全体】



グラフ 8-6(a)

【本館内訳】



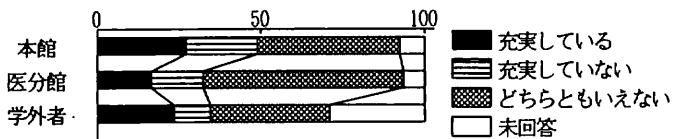
グラフ 8-6(b)

7) 沖縄関係資料 a. 充実している b. 充実していない
c. どちらともいえない

農学部を除いたすべての学部で「充実している」が「充実していない」を上回っており、本館では、「充実している」が27.4%、「充実していない」が21.5%で、医分館では「充実している」が16.5%、「充実していない」が15.8%となっている。

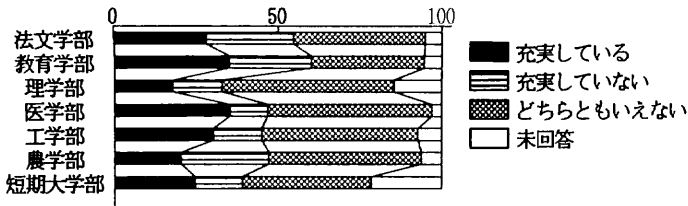
沖縄関係資料は本館においてあるため、充実度については本館を利用している学生のほうが高い評価を下していると思われる。

【全体】



グラフ 8-7(a)

【本館内訳】

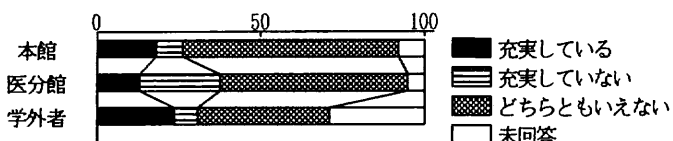


グラフ 8-7(b)

8) 国際関係資料 (国連資料, EC資料など) a. 充実している b. 充実していない
c. どちらともいえない

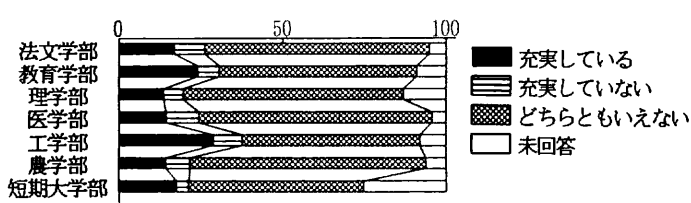
本館では、「充実している」が18.2%、「充実していない」が7.9%で、医分館では「充実している」が12.9%、「充実していない」が24.5%となっている。本館では「充実している」が「充実していない」を上回っているが、医分館ではそれが逆となっている。また、「どちらともいえない」が本館では65.7%、医分館では57.6%と高い数字となっており、国際関係資料についての関心はあまり高くないように思われる。

【全体】



グラフ 8-8(a)

【本館内訳】



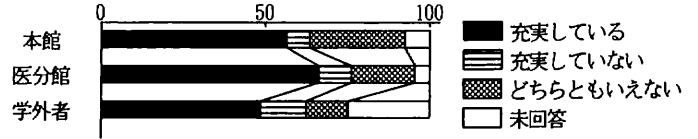
グラフ 8-8(b)

9) 新聞 a. 充実している b. 充実していない
c. どちらともいえない

本館では、「充実している」が56.5%、「充実していない」が7.1%で、医分館では「充実している」が66.2%、「充実していない」が10.1%となっている。本館、医分館とも「充実している」が「充実していない」を大きく上回っており、新聞については、現在の揃え方で満足されていると思われる。

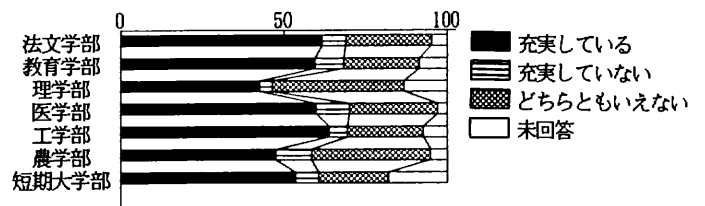
学外者についても、「充実している」が47.8%、「充実していない」が13.4%となっており、高い評価を受けている。

【全体】



グラフ 8-9(a)

【本館内訳】



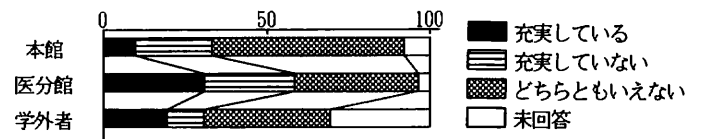
グラフ 8-9(b)

10) 視聴覚資料 (ビデオテープなど) a. 充実している b. 充実していない
c. どちらともいえない

本館では、「充実している」が10.1%、「充実していない」が23%で、医分館では「充実している」が30.9%、「充実していない」が27.3%となっている。本館では、「充実していない」が「充実している」を2倍以上上回っているが、医分館ではそれが逆で「充実している」が「充実していない」をわずかに上回っている。また、「どちらともいえない」が本館で58.7%、医分館で38.1%となっている。これらのことから本館を利用する学生は視聴覚資料に関心も低く、品揃えにも満足していないように見え、医分館を利用する学生は視聴覚資料に関心もあって、よく利用する傾向があるように思われる。

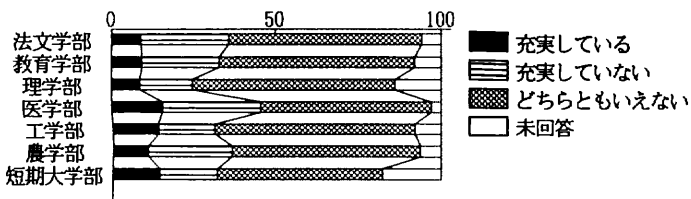
学外者では、「充実している」が20.9%、「充実していない」が10.4%となっており、ある程度満足されているように思える。

【全体】



グラフ 8-10(a)

【本館内訳】



グラフ 8-10(b)

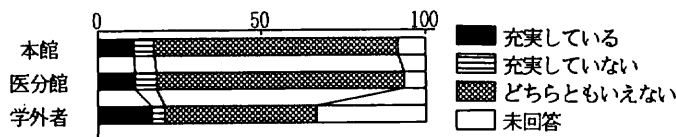
1 1) マイクロフィルム資料

- a. 充実している b. 充実していない
- c. どちらともいえない

本館では、「充実している」が11.1%、「充実していない」が6.2%で、医分館では「充実している」が11.5%、「充実していない」が6.5%となっている。また、「どちらともいえない」が本館で74.2%、医分館では75.5%と高い数字となっており、本館、医分館とも1割程度の人に満足されているものの関心度はあまり高くはないように思われる。

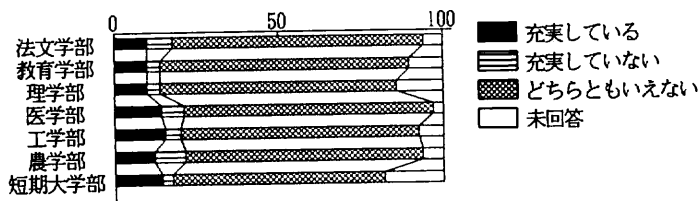
学外者では、「充実している」が17.9%、「充実していない」が3%となっており、2割程度の人に満足されているが、「どちらともいえない」と「未回答」の合計が80%近くになっており、やはり関心は薄いように思える。

【全体】



グラフ 8-11(a)

【本館内訳】



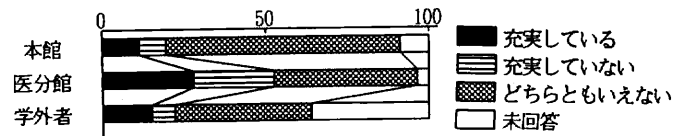
グラフ 8-11(b)

1 2) CD-ROM a. 充実している b. 充実していない c. どちらともいえない

本館では、「充実している」が11.4%、「充実していない」が7.9%で、医分館では「充実している」が28.1%、「充実していない」が24.5%となっている。本館、医分館とも「充実している」が「充実していない」を4%程度上回っている。また、「どちらともいえない」が本館で71.9%、医分館で43.9%となっている。これらのことから本館、医分館ともCD-ROMに関してはある程度満足されているように思われる。また、CD-ROMに対する関心の度合いは医分館を利用する学生のほうが高いように思われる。

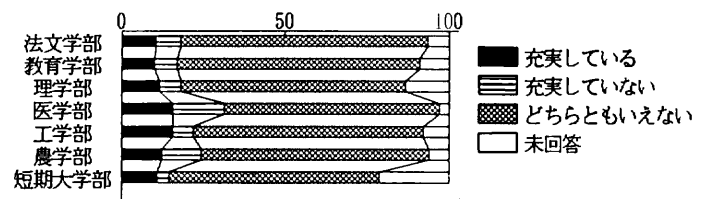
学外者では、「充実している」が16.4%、「充実していない」が7.5%となっており、ある程度満足されているように思える。

【全体】



グラフ 8-12(a)

【本館内訳】



グラフ 8-12(b)

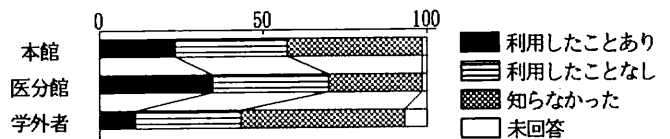
9. 指定図書を知っていますか。

- a. 利用したことがある b. 利用したことがない
- c. 知らない

本館では、「利用したことがある」が23.1%、「利用したことがない」が34.3%で、医分館では「利用したことがある」が34.5%、「利用したことがない」が35.3%となっている。本館、医分館とも「利用したことがない」が「利用したことがある」を上回っているが、医分館の場合は僅少である。また、「知らなかった」が本館では41.3%、医分館では28.8%となっており、本館のほうが指定図書の存在を知らない学生が多く見られる。

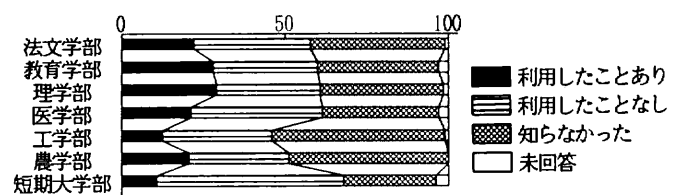
学外者では、「利用したことがある」が10.4%、「利用したことがない」が32.8%となっており、1割程度の人指定図書を知っている。

【全体】



グラフ 9(a)

【本館内訳】



グラフ 9(b)

10. 書庫内の資料を利用したことはありますか。

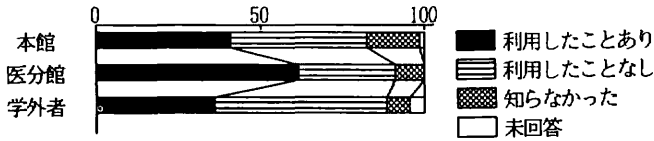
- a. 利用したことがある b. 利用したことはない
- c. 自由に入室できることを知らなかった

本館では、「利用したことがある」が40.8%、「利用したことがない」が41.7%で、医分館では「利用したことがある」が61.9%、「利用したことがない」が29.5%となっている。本館では「利用したことがある」と「利用したことがない」がほぼ同じであ

るのに対し、医分館では「利用したことがある」が2倍以上を上回っている。また、「知らなかった」が本館全体では16.2%、医分館では8.6%となっており、本館のほうが書庫の出入りが自由にできることを知らない学生が多い。

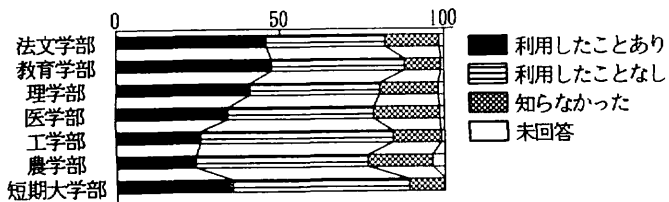
学外者では、「利用したことがある」が37.3%、「利用したことがない」が52.2%となっており、以外と多くの方が書庫内の資料を利用していることがわかる。

【全体】



グラフ 10(a)

【本館内訳】



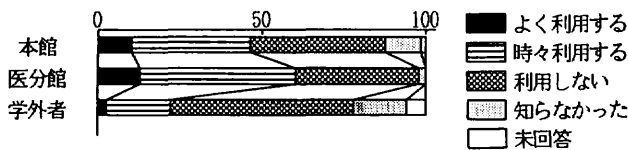
グラフ 10(b)

11. オンライン目録検索を利用したことがありますか。
 a. よく利用する b. 時々利用する c. 利用しない
 d. あることを知らなかった

本館では、「よく利用する」が10.2%、「時々利用する」が35.9%、「利用しない」が41.6%で、医分館では「よく利用する」が12.9%、「時々利用する」が47.5%、「利用しない」が37.4%となっている。本館では、「利用したことがある」学生と「利用したことがない学生」がほぼ拮抗しているのに対し、医分館では「利用したことがある」学生のほうが「利用したことがない」学生よりはるかに多い。

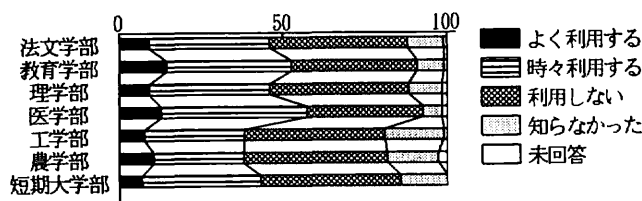
学外者では、「よく利用する」が3%、「時々利用する」が17.9%、「利用しない」が58.2%となっており、2割弱の人がオンライン目録検索を利用している。

【全体】



グラフ 11(a)

【本館内訳】



グラフ 11(b)

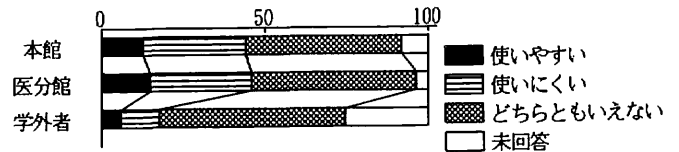
12. オンライン目録検索は使いやすいですか。

- a. 使いやすい b. 使いにくい
 c. どちらともいえない

本館では、「使いやすい」が12.9%、「使いにくい」が31.2%で、医分館では「使いやすい」が15.1%、「使いにくい」が30.9%となっている。本館、分館とも「使いにくい」が「使いやすい」の2倍近くの数字となっており、使い勝手の改善を検討する必要があると思われる。

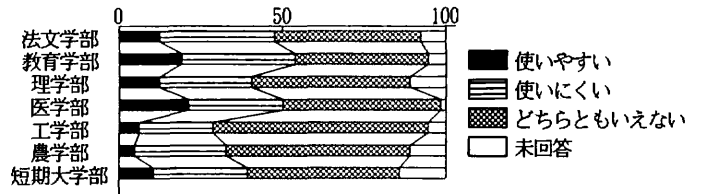
学外者は、11. の回答で示したように利用経験者が全体の2割弱で学内者程は利用する機会が少ないのは当然といえるが、この設問の回答としては、学内者同様の結果（「使いやすい」が6%、「使いにくい」が11.9%で1:2の比率）となっている。

【全体】



グラフ 12(a)

【本館内訳】



グラフ 12(b)

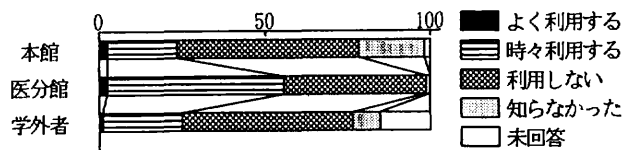
13. カード目録を利用したことがありますか。

- a. よく利用する b. 時々利用する c. 利用しない
 d. あることを知らなかった

本館では、「よく利用する」が2.5%、「時々利用する」が21.2%、「利用しない」が54.4%で、医分館では「よく利用する」が2.9%、「時々利用する」が52.5%、「利用しない」が43.2%となっている。本館では、利用しない学生が利用している学生の2倍以上を占めているのに対し、医分館では利用している学生のほうが利用しない学生より10%ほど多い。

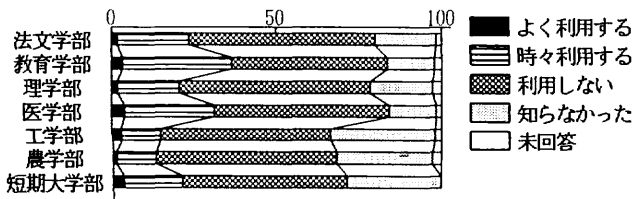
学外者では、「よく利用する」が1.5%、「時々利用する」が25.4%、「利用しない」が50.7%となっており、本館の学生と同じような結果となっている。

【全体】



グラフ 13(a)

【本館内訳】



グラフ 13(b)

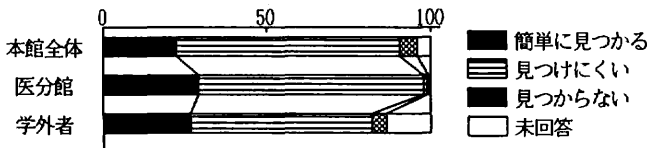
14. 探す資料は簡単に見つかりますか。

- a. 簡単に見つかることが多い
- b. 見つけにくいことが多い
- c. ほとんど見つからない

本館では、「簡単に見つかる」が22.5%、「見つけにくい」が68.1%、「見つからない」が5.6%で、医分館では「簡単に見つかる」が29.5%、「見つけにくい」が68.3%、「見つからない」が1.4%となっている。本館、医分館とも「見つけにくい」が7割近くを占めており、「簡単に見つかる」のは、2～3割程度だった。また、「見つからない」のは6%以下だった。

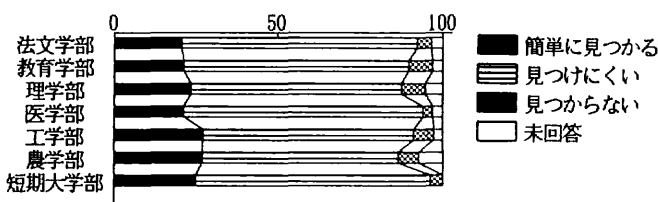
学外者では、「簡単に見つかる」が26.9%、「見つけにくい」が55.2%、「見つからない」が4.5%となっており、「見つけにくい」が5割以上を占めている。

【全体】



グラフ 14(a)

【本館内訳】



グラフ 14(b)

15. 見つけにくい理由はなんですか。

- a. 所定の位置にない
- b. 配架場所がわからない
- c. 貸出中のことが多い
- d. その他

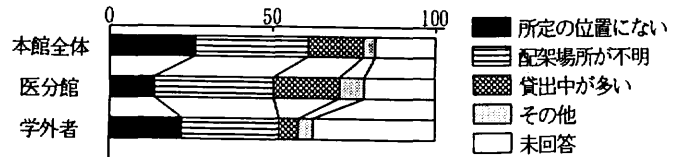
本館全体では、「所定の位置にない」が26.3%、「配架場所がわからない」が29.9%、「貸出中のことが多い」が17.1%で、医分館では「所定の位置にない」が13.7%、「配架場所がわからない」が36.7%、「貸出中のことが多い」が20.1%となっている。本館、医分館とも「配架場所がわからない」が1位で、2位は本館が「所定の位置にない」、医分館が「貸出中のことが多い」になっており、2位、3位が正反対になっている。

学外者では、「所定の位置にない」が22.4%、「配架場所がわからない」が29.9%、「貸出中のことが多い」が6%となっており、「配架場所がわからない」が学内者同様1位となっている。

「その他」の回答には、「オンライン目録検索には無いが、目録ファイルにある場合などがあって探しにくい」、「洋書は検

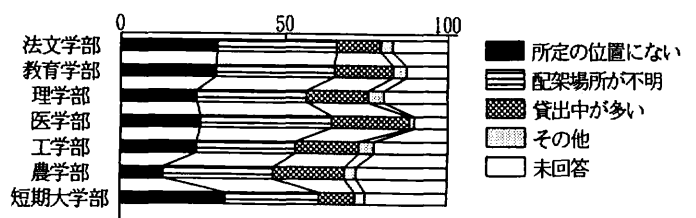
索しにくい。大文字、小文字の指定も簡単に、書名が著者から簡単に探せるようにしてほしい」、「検索語がわからない」などの検索システムの不備を指摘するものや「本自体がない」、「購入されていない」、「探している本が貸出中なのか最初からないかわからない」、「本が多くさがしにくい」、「配架の秩序の乱れ」など所在不明の原因が定かでないことを指摘するものが多くあった。

【全体】



グラフ 15(a)

【本館内訳】



グラフ 15(b)

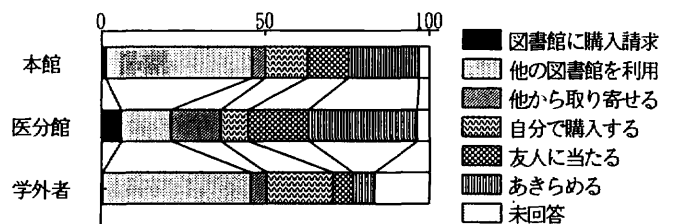
16. 目的の資料が図書館に所蔵していない場合どうしていますか。

- a. 図書館に購入請求をする
- b. 他の図書館を利用する
- c. 図書館間の文献複写・相互貸借（ILL）サービスを利用して取り寄せる
- d. 自分で購入する
- e. 友達に当たる
- f. あきらめる

本館では、「他の図書館を利用」(44.1%)、「あきらめる」(21.5%)、「自分で購入」(13%)、「友達にあたる」(12.5%)の順で、医分館では「あきらめる」(33.1%)、「友達にあたる」(18.4%)、「ILLにより他の図書館から取り寄せる」(15.2%)、「他の図書館を利用」(14.7%)の順となっている。3人に1人が「あきらめる」か「自分で購入」してしまっている。また、「図書館に購入請求する」人は本館が1.8%、医分館が6.6%と以外に少ない。

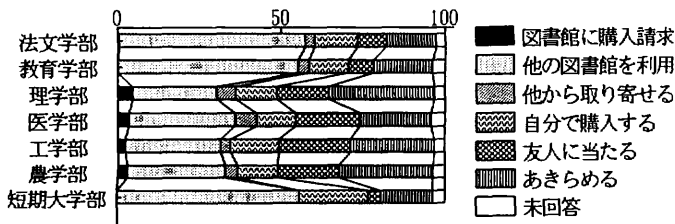
学外者では、「他の図書館を利用」(48.5%)、「自分で購入する」(19.9%)、「未回答」(13.4%)、「友達にあたる」(6.7%)の順で「図書館に購入請求する」人もわずか(0.5%)ながらいる。

【全体】



グラフ 16(a)

【本館内訳】



グラフ 16(b)

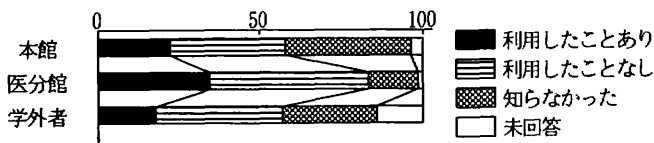
17. 図書館間の文献複写・資料の相互貸借 (ILL) サービスを利用したことがありますか。

- a. 利用したことがある
- b. 利用したことはない
- c. あることを知らなかった

本館では、「あることを知らなかった」(38.4%)、「利用したことはない」(35.8%)、「利用したことがある」(22.4%)の順で、医分館では、「利用したことはない」(48.9%)、「利用したことがある」(34.5%)、「あることを知らなかった」(15.1%)の順となっている。ILLの利用者は医分館のほうが本館より12%ほど多い。

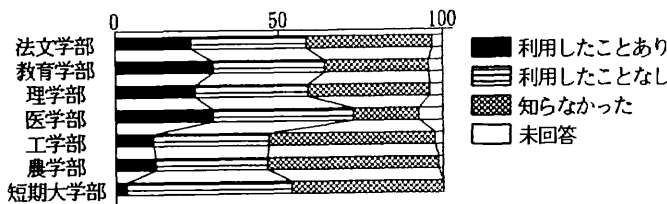
学外者は、「利用したことはない」(37.3%)、「あることを知らなかった」(29.9%)、「利用したことがある」(19.4%)の順で、「未回答」も13.4%と多いので、これを「知らなかった」に含めると、本館と同様の回答結果となっている。

【全体】



グラフ 17(a)

【本館内訳】



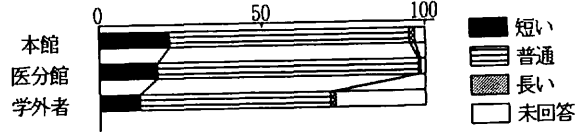
グラフ 17(b)

18. カウンター手続き業務 (貸出、返却、予約) についてお尋ねします。

- 1) 貸出に要する時間は a. 短い b. 普通 c. 長い

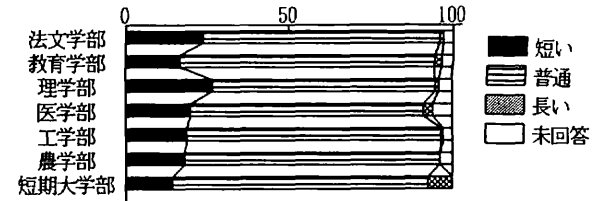
本館、医分館、学外者とも「普通」が圧倒的に多く、それぞれ73.4%、79.9%、58.2%となっている。「短い」と答えたのは、本館が22%、医分館が18%、学外者が11.9%だった。学外者は他の図書館での利用もあると考えられ、「短い」と思う人が少ないのは、他の図書館で貸出処理の早いところがあってこの程度の数字となっていることも想像される。

【全体】



グラフ 18-1(a)

【本館内訳】



グラフ 18-1(b)

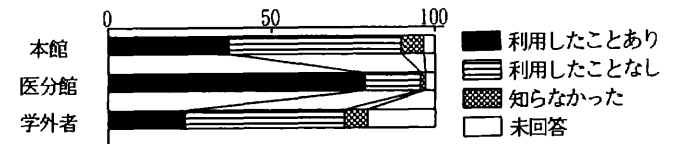
2) 返却ポストを利用したことは

- a. 利用したことがある
- b. 利用したことはない
- c. あることを知らなかった

返却ポストの利用については、本館が、「利用したことがある」37.2%、「利用したことはない」52.8%となっており、医分館が「利用したことがある」78.4%、「利用したことはない」17.3%となっており、医分館は5人に4人、本館は5人に2人が利用している結果となっており、2倍の開きが出ている。

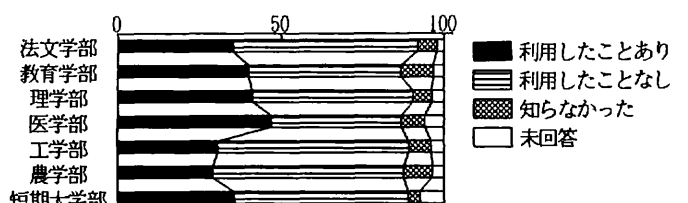
学外者は、「利用したことがある」が20.9%、「利用したことはない」が50.7%となっており、5人に1人が返却ポストを利用していることになる。

【全体】



グラフ 18-2(a)

【本館内訳】



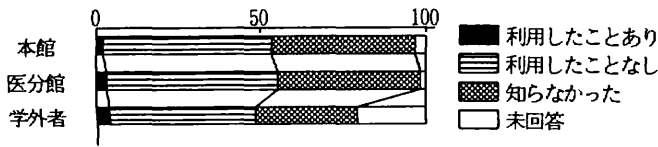
グラフ 18-2(b)

3) 貸出中の図書の予約制度は

- a. 利用したことがある
- b. 利用したことはない
- c. あることを知らなかった

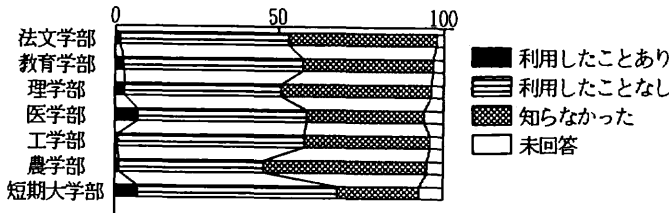
貸出図書の予約を「利用したことがある」人は、本館が2.5%、医分館が3.6%、学外者が3%と極めて少ない。この制度が「あることを知らなかった」人は本館、医分館とも4割程度なので、残り6割の内の5%程度が利用という理由をはっきりしないが、PR不足とも考えられるので、広報にも力を入れていく必要があると思う。

【全体】



グラフ 18-3(a)

【本館内訳】



グラフ 18-3(b)

19. 図書館の貸出冊数、貸出期間についてお尋ねします。

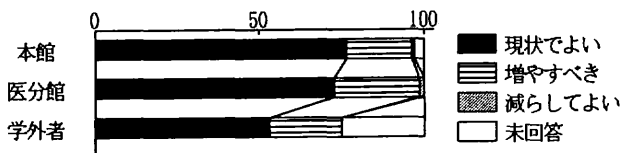
- 1) 冊数 a. 現状でよい b. 増やすべきである
 c. 減らしてよい

本館では、「現状でよい」が76.7%、「増やすべきである」が19.9%、「減らしてよい」が0.7%となっており、医分館では、「現状でよい」が72.7%、「増やすべきである」が25.9%、「減らしてよい」が1.4%となっている。

また、学外者は、「現状でよい」が53.7%、「増やすべきである」が20.9%、「減らしてよい」が0%となっている。

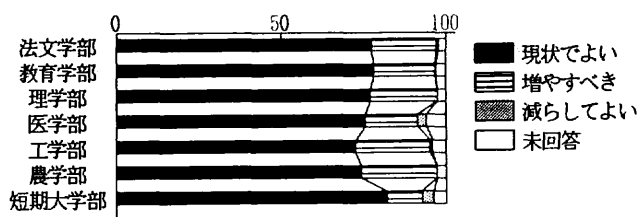
貸出冊数については「現状でよい」と考えている人が学内者で7割強、学外者で5割強を占めている。

【全体】



グラフ 19-1(a)

【本館内訳】



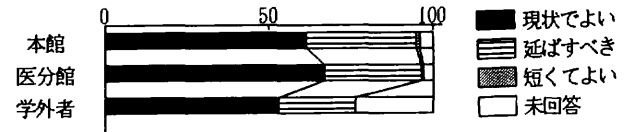
グラフ 19-1(b)

- 2) 期間 a. 現状でよい b. 延ばすべきである
 c. 短くてよい

本館では、「現状でよい」が61.4%、「延ばすべきである」が33.8%、「短くてよい」が0.8%となっており、医分館では、「現状でよい」が66.9%、「延ばすべきである」が29.5%、「短くてよい」が0.7%となっている。本館、医分館とも現状肯定と延長希望が2:1の割合で、短縮希望の声はほとんどない。

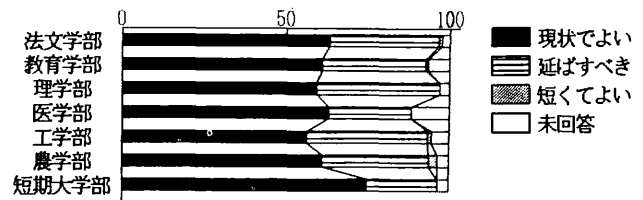
また、学外者は、「現状でよい」が52.2%、「延ばすべきである」が23.9%、「短くてよい」が0%となっている。傾向は学内者と同じである。

【全体】



グラフ 19-2(a)

【本館内訳】



グラフ 19-2(b)

20. レファレンスサービス(利用者の質問に対するサービス)は利用したことがありますか。

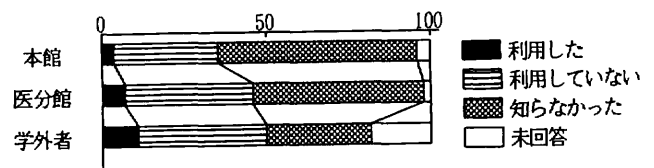
- a. 利用したことがある b. 利用したことはない
c. あることを知らなかった

本館では、「利用したことがある」が3.7%、「利用したことはない」が31.5%、「あることを知らなかった」が60.8%で、医分館では、「利用したことがある」が7.2%、「利用したことはない」が38.8%、「あることを知らなかった」が51.8%となっている。

特に、本館では、レファレンスサービスが「あることを知らなかった」学生が6割を占め、医分館の同学生の5割より1割も多い結果となっている。利用した学生も1ケタ%台と少なく、オリエンテーション等で学生にレファレンスサービスをもっと積極的にアピールしていく必要があると思われる。

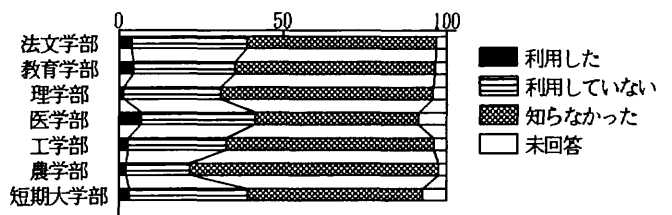
学外者は、「利用したことがある」が11.9%、「利用したことはない」が40.3%、「あることを知らなかった」が29.9%、「未回答」が17.9%となっている。学外者のほうが利用に不慣れたためか利用した人は学内者より多い結果となっている。

【全体】



グラフ 20(a)

【本館内訳】



グラフ 20(b)

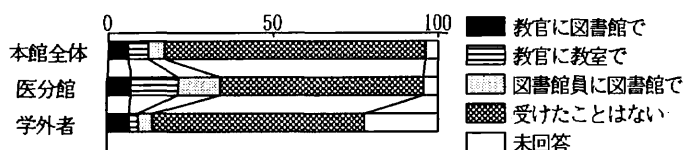
2 1. 図書館の利用方法について入学時以外にオリエンテーションを受けたことがありますか。

- a. 教官から図書館で b. 教官から教室で
c. 図書館員から図書館で d. 受けたことはない

本館では、「教官から図書館で」が6.4%、「教官から教室で」が5.6%、「図書館員から図書館で」が5.1%、「受けたことはない」が79.3%で、医分館では、「教官から図書館で」が7.6%、「教官から教室で」が14%、「図書館員から図書館で」が12.9%、「受けたことはない」が61.2%となっている。

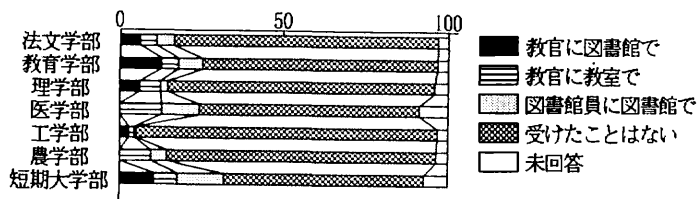
入学時以外のオリエンテーションは、本館では8割が、医分館では6割が受けていないという結果となっている。

【全体】



グラフ 21(a)

【本館内訳】



グラフ 21(b)

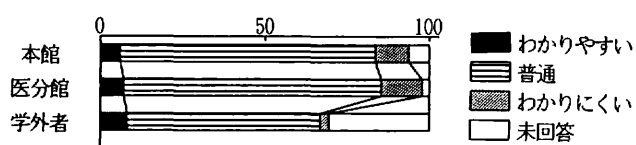
2 2. 図書館利用案内パンフレットはわかりやすいですか。

- a. わかりやすい b. 普通 c. わかりにくい

本館では、「わかりやすい」が6.1%、「普通」が77.6%、「わかりにくい」が10.3%で、医分館では、「わかりやすい」が7.2%、「普通」が78.4%、「わかりにくい」が12.2%となっている。

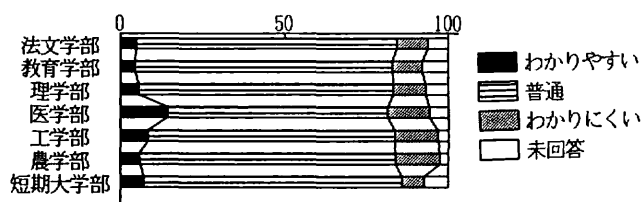
学外者は、「わかりやすい」が7.5%、「普通」が58.2%、「わかりにくい」が3%となっている。

【全体】



グラフ 22(a)

【本館内訳】



グラフ 22(b)

本館、医分館、学外者とも「わかりやすい」が8%に満たない

結果となっており、本館、医分館では、「わかりにくい」が「わかりやすい」を上回っている。

利用案内パンフレットの作成には、一工夫必要と思われる。

2 3. 館内案内(サイン)はわかりやすいですか。

1) 館内案内図

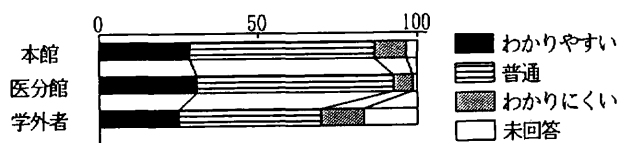
- a. わかりやすい b. 普通 c. わかりにくい

本館では、「わかりやすい」が28.2%、「普通」が58.3%、「わかりにくい」が10.2%で、医分館では、「わかりやすい」が30.9%、「普通」が61.9%、「わかりにくい」が5.8%となっている。

本館、医分館とも「わかりやすい」と感じている人が3割程度いて、6割程度が「普通」と思っている。

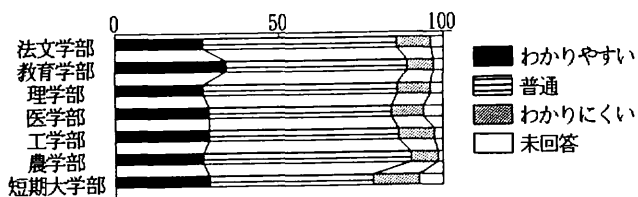
学外者は、「わかりやすい」が26.9%、「普通」が43.3%、「わかりにくい」が11.9%となっている。

【全体】



グラフ 23-1(a)

【本館内訳】

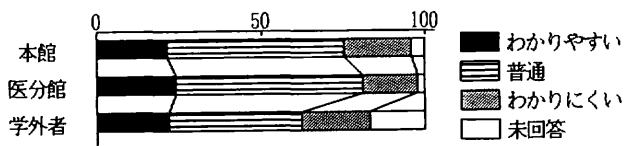


グラフ 23-1(b)

2) 資料配置図

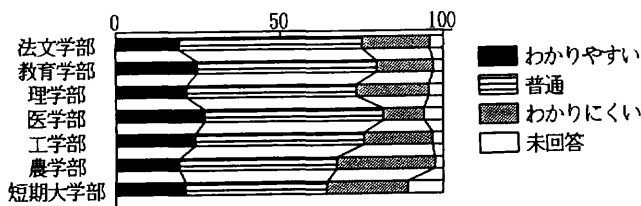
- a. わかりやすい b. 普通 c. わかりにくい

【全体】



グラフ 23-2(a)

【本館内訳】



グラフ 23-2(b)

本館では、「わかりやすい」が21.7%、「普通」が53.4%、「わかりにくい」が21%で、医分館では、「わかりやすい」が24.5%、「普

通」が56.8%、「わかりにくい」が16.5%となっている。

本館は、「わかりやすい」と「わかりにくい」がほぼ同じであるのに対し、医分館では、「わかりやすい」のほうが「わかりにくい」より8%ほど多い。

学外者は、「わかりやすい」が23.9%、「普通」が38.8%、「わかりにくい」が19.4%となっている。

3) 書架見出し

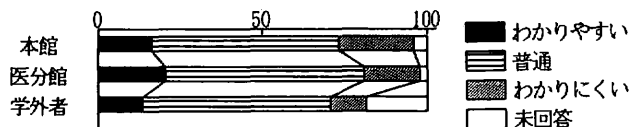
a. わかりやすい b. 普通 c. わかりにくい

本館では、「わかりやすい」が16.7%、「普通」が56.9%、「わかりにくい」が22.4%で、医分館では、「わかりやすい」が20.9%、「普通」が60.4%、「わかりにくい」が16.5%となっている。

本館は、「わかりにくい」のほうが「わかりやすい」よりも多いのに対し、医分館では、「わかりやすい」のほうが「わかりにくい」より多い。

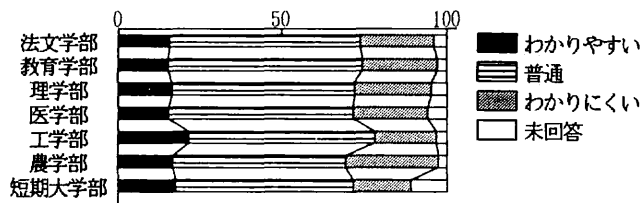
学外者は、「わかりやすい」が14.9%、「普通」が55.2%、「わかりにくい」が10.4%となっている。

【全体】



グラフ 23-3(a)

【本館内訳】

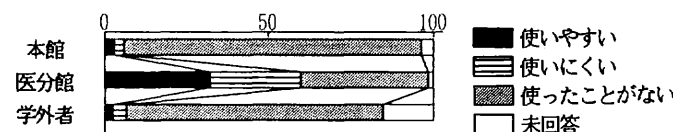


グラフ 23-3(b)

24. 視聴覚機器 (ビデオデッキなど) についてお尋ねします。

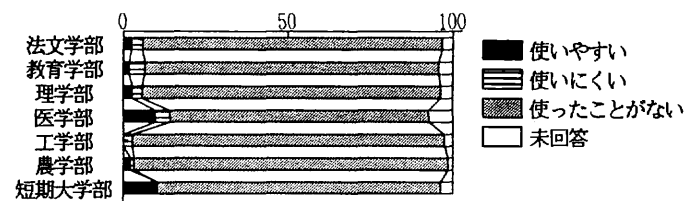
a. 使いやすい b. 使いにくい c. 使ったことがない

【全体】



グラフ 24(a)

【本館内訳】



グラフ 24(b)

本館では、「使いやすい」が3%、「使いにくい」が3.2%、「使ったことがない」が90.4%で、医分館では、「使いやすい」が32.4%、「使いにくい」が27.3%、「使ったことがない」が38.8%となっている。

本館は、視聴覚機器を使った経験のある人が1割に満たないのに対し、医分館では、6割程度の人が利用している。また、使い勝手については、本館、医分館ともよし悪しが大体同じくらいになっている。

学外者は、「使いやすい」が3%、「使いにくい」が4.5%、「使ったことがない」が76.1%となっている。

25. マイクロ・フィルムリーダー・プリンターについてお尋ねします。

a. 使いやすい b. 使いにくい c. 使ったことがない

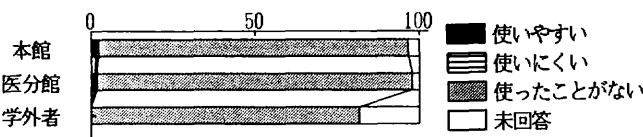
本館では、「使いやすい」が1.5%、「使いにくい」が0.8%、「使ったことがない」が94.7%で、医分館では、「使いやすい」が1.4%、「使いにくい」が0.7%、「使ったことがない」が95.7%となっている。

本館、医分館ともマイクロ機器を使った経験のある人が2%程度しかいない。

学外者は、「使いやすい」が0%、「使いにくい」が0%、「使ったことがない」が80.6%となっており、残り19.4%が未回答だった。

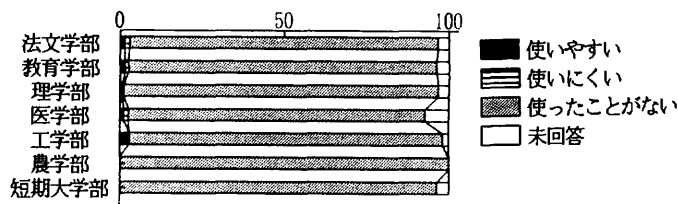
学外者のマイクロ機器の利用経験者は1人もいない。

【全体】



グラフ 25(a)

【本館内訳】



グラフ 25(b)

26. CD-ROM機器についてお尋ねします。

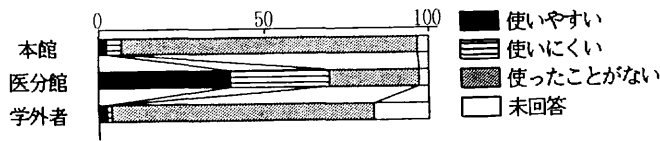
a. 使いやすい b. 使いにくい c. 使ったことがない

本館では、「使いやすい」が2.6%、「使いにくい」が4.5%、「使ったことがない」が89.7%で、医分館では、「使いやすい」が39.6%、「使いにくい」が30.2%、「使ったことがない」が27.3%となっている。

本館では、7%の学生しか利用していないのに対し、医分館では70%もの学生が利用している。CD-ROMのデータベースでは医学関係のものが主流になっていることが、利用の極端な違いに表れている。

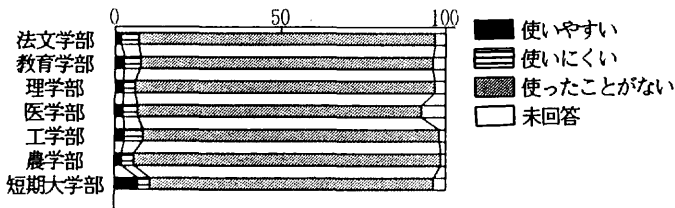
学外者は、「使いやすい」が3%、「使いにくい」が1.5%、「使ったことがない」が77.6%となっており、残り17.9%が未回答だった。

【全体】



グラフ 26(a)

【本館内訳】



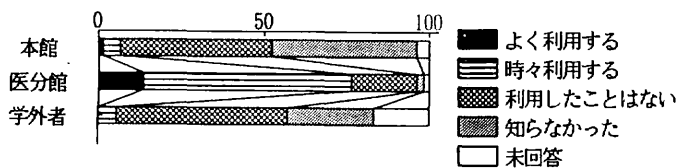
グラフ 26(b)

27. ゼミ室/個室の利用についてお尋ねします。

- a. よく利用する b. 時々利用する
- c. 利用したことはない d. あることを知らなかった

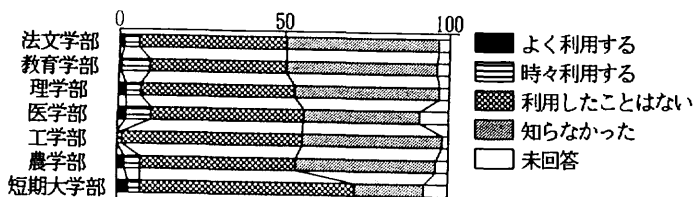
本館では、「よく利用する」が1.7%、「時々利用する」が4.9%、「利用したことはない」が45.7%、「あることを知らなかった」が44.3%で、医分館では、「よく利用する」が13.7%、「時々利用する」が62.6%、「利用したことはない」が20.1%、「あることを知らなかった」が2.2%となっている。

【全体】



グラフ 27(a)

【本館内訳】



グラフ 27(b)

28. 閲覧室の環境についてお尋ねします。

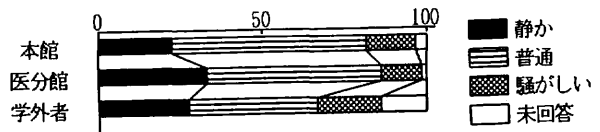
- 1) 騒音・私語 a. 静か b. 普通 c. 騒がしい

本館では、「静か」が22.5%、「普通」が59%、「騒がしい」が15.3%で、医分館では、「静か」が33.1%、「普通」が53.2%、「騒がしい」が12.2%となっている。

学外者は、「静か」が28.4%、「普通」が58%、「騒がしい」が15.4%となっている。

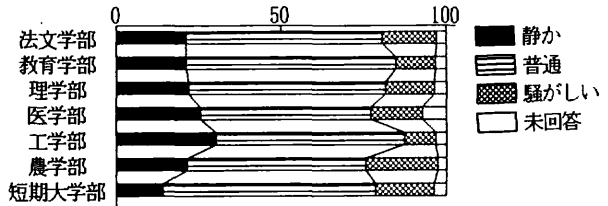
1割強の人が騒音や私語を意識しているが、その他の人は騒音をあまり意識していない。

【全体】



グラフ 28-1(a)

【本館内訳】



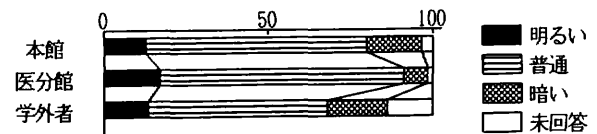
グラフ 28-1(b)

- 2) 照明 a. 明るい b. 普通 c. 暗い

本館では、「明るい」が13%、「普通」が67.2%、「暗い」が16.7%で、医分館では、「明るい」が17.3%、「普通」が74.1%、「暗い」が7.2%となっており、照明が「普通」と思っている人が6~7割を占めている。本館では、「暗い」と感じている人が「明るい」と感じている人より多い結果となっている。部屋によっては照度が違うので、暗いところがあるかどうかを調べる必要がある。

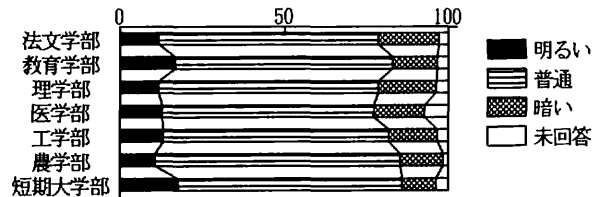
学外者は、「明るい」が13.4%、「普通」が52.2%、「暗い」が19.4%となっている。

【全体】



グラフ 28-2(a)

【本館内訳】



グラフ 28-2(b)

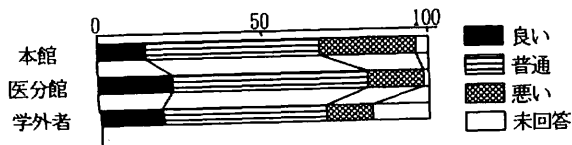
- 3) 空調 a. 良い b. 普通 c. 悪い

本館では、「良い」が14.7%、「普通」が53.1%、「悪い」が28.7%で、医分館では、「良い」が23%、「普通」が59%、「悪い」が16.5%となっている。

学外者は、「良い」が20.9%、「普通」が47.8%、「悪い」が13.4%となっている。

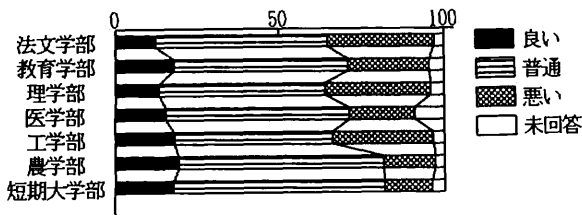
本館では、「悪い」が「良い」の2倍の数字となっている。室温についても各部屋の状況を調べて、改善すべき部屋については見直しを検討する必要があると思われる。

【全体】



グラフ 28-3(a)

【本館内訳】



グラフ 28-3(b)

29. 図書館報「びぶりお」についてお尋ねします。

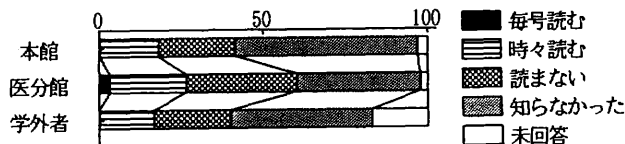
- a. 毎号読む
- b. 時々読む
- c. 読まない
- d. あることを知らなかった

本館では、「毎号読む」が0.6%、「時々読む」が17.4%、「読まない」が24.3%、「あることを知らなかった」が55.1%で、医分館では、「毎号読む」が3.6%、「時々読む」が23%、「読まない」が33.8%、「あることを知らなかった」が37.4%となっている。

学外者は、「毎号読む」が0%、「時々読む」が16.4%、「読まない」が22.4%、「あることを知らなかった」が44.8%で、「未回答」が16.4%だった。

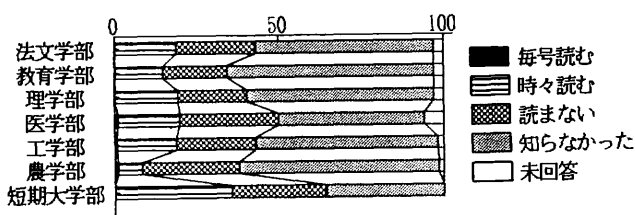
7～8割程度の人には「びぶりお」が読まれていない結果となっている。

【全体】



グラフ 29(a)

【本館内訳】



グラフ 29(b)

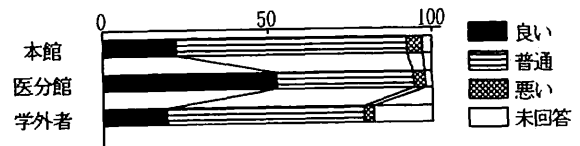
30. 図書館職員の応接態度についてお尋ねします。

- a. 良い
- b. 普通
- c. 悪い

本館では、「良い」が22.4%、「普通」が70.1%、「悪い」が4.8%で、医分館では、「良い」が52.5%、「普通」が41.7%、「悪い」が3.6%となっている。

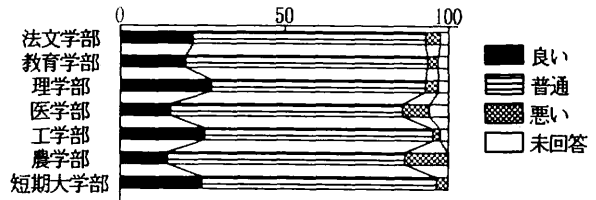
学外者は、「良い」が19.4%、「普通」が58.2%、「悪い」が3%となっている。

【全体】



グラフ 30(a)

【本館内訳】



グラフ 30(b)

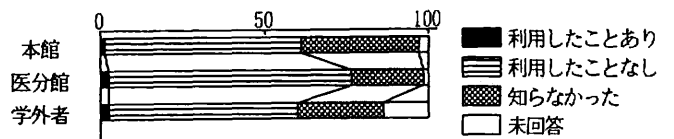
31. 利用者の声を聞く投書箱についてお尋ねします。

- a. 利用したことがある
- b. 利用したことはない
- c. あることを知らなかった

本館では、「利用したことがある」が1.5%、「利用したことはない」が59.5%、「あることを知らなかった」が36.4%で、医分館では、「利用したことがある」が2.9%、「利用したことはない」が73.4%、「あることを知らなかった」が22.3%となっている。

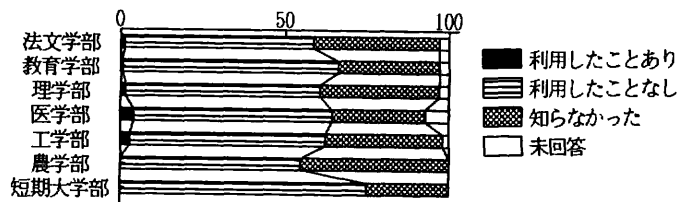
学外者は、「利用したことがある」が3%、「利用したことはない」が56.7%、「あることを知らなかった」が25.4%となっている。

【全体】



グラフ 31(a)

【本館内訳】



グラフ 31(b)

32. その他図書館に対する意見・要望等について自由にお書きください。

図書館に関する要望等について、5項目に集約してまとめたものを以下に示す。

(1)資料に関するもの

- 1)専門書の量・種類及び新刊本の充実 (27名:本館、4名:医分館)
- 2)文学図書(小説)などの増冊 (13名:本館、1名:医分館)
- 3)図書の充実 (9名:本館)
- 4)ビデオ等視聴覚資料の充実 (5名:本館)

- 5) 沖縄関係資料の充実 (3名:本館) (1名:本館)
- 6) 法律関係専門書の充実 (3名:本館) 5) CD-ROMの台数の増強 (3名:医分館)
- 7) 新書コーナーの拡大と文庫コーナーの新設及び配架される本の充実 (3名:本館) 6) CD-ROM、マイクロフィルムの利用法を教える (3名:本館)
- 8) 英米文学や現代フランス哲学の本の充実を (2名:本館) 7) CD-ROM装置にMACを (1名:医分館)
- 9) 新刊本の充実 (2名:本館) 8) 商用ネットワーク等文献情報サービスを利用したい (1名:本館)
- 10) 留学生用コーナーの本の増冊 (2名:本館) 9) FD (フロッピーディスク) の媒体変換サービス (1名:本館)
- 11) 指定図書の本の充実 (1名:本館、1名:医分館)
- 12) 外国人にもわかりやすい本の配架 (1名:本館)
- 13) 専門雑誌の充実 (1名:医分館)
- 14) 有名作家本の整備 (1名:本館)
- 15) 高額本の購入 (1名:本館)
- 16) 教養図書の充実 (1名:本館)
- 17) ベストセラー本の配架 (1名:本館)
- 18) 読売、毎日、産経、日経新聞の縮刷版の購入 (1名:本館)
- (2) 運営 (サービス) に関するもの
- 1) 開館時間の延長 (25名:本館、6名:医分館)
- 2) 土曜の開館時間の延長 (14名:医分館、8名:本館)
- 3) テスト期間及びその1週間前からの開館時間の延長 (13名:本館、2名:医分館)
- 4) 日曜・休日開館 (10名:本館、8名:医分館)
- 5) 利用できるサービスのわかりやすい案内や掲示を (8名:本館)
- 6) 図書・雑誌の整然とした配架とその維持を (6名:本館)
- 7) 沖縄関係資料室の開放 (3名:本館)
- 8) 文献複写に関して
- ① 文献複写料金を安く (10名:本館)
- ② 複写機の台数を増やして (4名:本館)
- ③ セルフサービス可能な複写機の設置 (2名:本館)
- ④ 時間の延長 (2名:本館)
- ⑤ 複写は図書以外のもの (新聞等) も可能に (2名:本館)
- ⑥ 複写手続きの簡素化 (1名:本館)
- 9) 本の返却をしているのに未返却扱いされた (2名:医分館、1名:本館)
- 10) 紀要の配置をわかりやすく (2名:本館)
- 11) ILLについての解説がほしい (2名:本館)
- 12) 延滞のペナルティをやめてほしい (2名:本館)
- 13) 延滞のペナルティはきびしくすべき (1名:本館)
- 14) 貸出されている本がわかるような仕組みを考えてほしい (1名:本館)
- 15) 新聞閲覧室の利用時間延長を (1名:本館)
- 16) 資料配置図をわかりやすく (1名:本館)
- 17) 外国人にもわかりやすい案内の作成を (1名:本館)
- 18) 書庫が古い分類表のままである (1名:本館)
- 19) 本の傷みの修復を (1名:本館)
- 20) 新着雑誌の配架が遅い (1名:本館)
- (3) 情報検索等に関するもの
- 1) オンライン目録検索システムの改善 (4名:本館、1名:分館)
- 2) オンライン目録検索マニュアルをわかりやすいものに (2名:本館)
- 3) オンライン目録検索システムの入力漏れがないように (2名:本館)
- 4) オンライン目録検索システムの台数の増加
- (4) 設備に関するもの
- 1) 空調に関して
- ① 室内の換気が悪い (24名:本館、1名:医分館)
→ 増築工事の影響で一時期換気扇が機能しなかったためと思われる
- ② 温度調整が悪い (6名:本館)
- 2) 閲覧機の数を増やして (6名:本館)
→ 増築により、2階、3階に閲覧室が新設され、各8席増えている
- 3) 閲覧スペースの拡大を (3名:本館)
- 4) 個人機の照明をもっと明るく (3名:本館)
- 5) 部屋の照明をもっと明るく (3名:本館)
- 6) 書架と閲覧機のスペースを分けてほしい (3名:本館)
→ 増築後、旧閲覧室の閲覧機の間を寸断していた書架を移設し、閲覧スペースはクリアになった
- 7) 図書館内に飲食スペースがほしい (2名:本館)
- 8) 男子トイレの換気が悪い (2名:本館)
- 9) 椅子を長時間座っても疲れぬものに (2名:本館)
- 10) BGMを流してはどうか (2名:本館)
- 11) 工事の音がうるさくて集中できない (2名:本館)
- 12) 新聞を読む場所の照明が暗い (1名:医分館)
- 13) 男子トイレのドアの音がしないよう直してほしい (1名:本館)
- 14) 椅子の修繕をしてほしい (1名:医分館)
- (5) その他
- 1) 図書館職員の応接態度に好感 (3名:本館、1名:医分館)
- 2) 図書館職員の均質かつ良質である応接を望む (2名:本館)
- 3) 食べ物の持ち込みを禁止してほしい (2名:医分館)
- 4) 全館禁煙に (2名:本館)
- 5) 席取りやマナーの悪さに対して注意を (2名:本館)
- 6) 広く一般にも開放をPRすべき (1名:医分館)
- (注) 設備関係のところでは「→」で示したものは、改善処置をとったもの。
- 前号と本号の2回に渡って、教官及び学生 (学外者を含む) の皆様から回答をいただきましたアンケートの集計結果を掲載させていただきました。多くの方にアンケートにご協力いただきありがとうございました。

増築移転後の資料配置について

昭和56年に現附属図書館本館（鉄筋コンクリート3階建、総面積6,134㎡）が落成し、首里キャンパスから移転してきて、10余年が経ちました。この間、学術研究資料の急増と図書館サービスの多様化によって図書館施設の狭隘が進み、資料の配架に支障をきたすほどになりました。

本年2月に待ち望んでいた増築が関係者の助力を経て成り、既設部と増築部（3,016㎡）を合わせて総面積9,150㎡という立派な施設となりました。今回、学生の夏休み期間を利用して、書架やマイクロフィルム関係機器の大移動及び図書や雑誌の再配置を行いましたので、ここにお知らせします。

1. 増築後の建物スペース

今回の増築により、建物の各スペースは以下のようにになりました。

a. サービス・スペース	b. 管理スペース
閲覧 2,792㎡	書庫 2,821㎡
視聴覚 270㎡	事務 571㎡
その他 1,018㎡	その他 1,678㎡

c. 総面積 (a.+b.)
9,150㎡

2. 利用環境の改善

- ①既設部2階・3階閲覧室を塞いでいた書架の移設により、閲覧室全体の空間の広がりが増し、快適な環境となりました。
- ②増築部2・3階に新たな閲覧室を設置し、閲覧席各階88席増となりました。
- ③新しい施設の設定

1) 多目的ホール

増築部1階にビデオプロジェクターや放送設備、簡易テーブル付き椅子100席を備えたホールが設置され、図書館及び学術教育・研究に関する会議に利用することができるようになりました。

2) 共同学習研究室

多目的ホールに隣接した北側に、利用者が本図書館の資料を用いてグループで共同学習できる共同学習研究室が設置されました。

3. 部屋記号の設定

増築により、建物の各部屋の位置関係が複雑となってきましたので、主たる部屋にA～Hまでの記号を付けて表すことにしました。図1を見て下さい。ここでは、利用者が最初に足を踏み入れる2階を示しています。

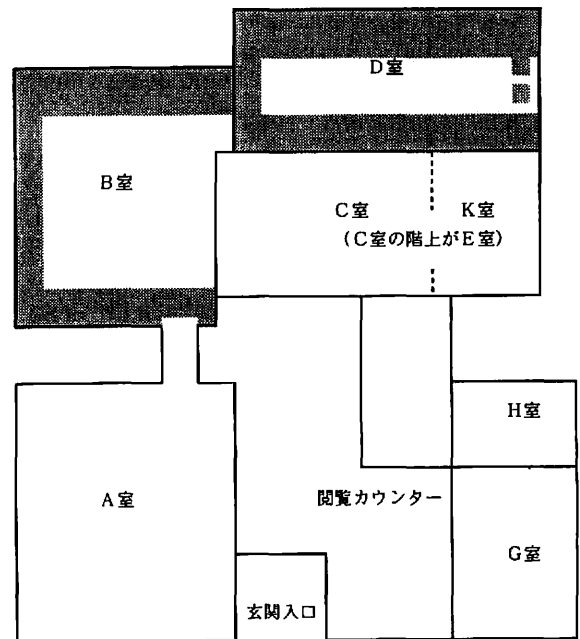


図1 2階概略図（網掛が増築部）

正面玄関を入れて左側が既設閲覧室になっていますが、この位置にある部屋をA室とし、その上、奥の新設閲覧室がB室、さらに、既設書庫がC室、新設書庫がD室、入口に戻って閲覧カウンター右側の部屋がG室となり、その向かいにある部屋がH室となります。既設書庫は積層（中2階構造）となっており、C室の上にも一つの部屋があります。この部屋がE室となります。また、2階に限りC室を5分の2ほど

区切った部屋があり、そこがK室となります。

1階から3階までの同じ位置にある部屋については、この記号を付け、先頭に階を示す数字を付けます。例えば、2階既設閲覧室であれば、2Aというのが本図書館内でユニークな部屋記号となるわけです。

3. 資料の配置

資料の配置は以下のようになりました。

上記で説明した部屋記号と配架資料で示します。

1階

- 1C室 電動集密書庫
稀用一般図書（洋書）、湧川文庫
- 1D室 電動集密書庫に1975年以前の雑誌
和雑誌バックナンバー
（50音順）
洋雑誌バックナンバー
（アルファベット順）
その他、既設部に新聞資料室、研究個室があり、増築部に多目的ホール、共同学習研究室がある。

2階

- 2A室 参考図書
（辞典、年鑑、白書等）
- 2B室 国際関係資料
（UNESCO、UN、EU、OECD、アジア資料、アメリカ研究図書等）
- 2C室 稀用一般図書（和書）
NDC分類 0～222.07
- 2D室 稀用一般図書（和書）
NDC分類 222.08～459
- 2E室 稀用一般図書（和書）
NDC分類 460～990
- 2G室 沖縄関係開架資料
指定図書、最高裁判所等の判例集
- 2H室 マイクロフィルム資料
ビデオ・カセットテープ資料
- 2K室 沖縄関係閉架資料

3階

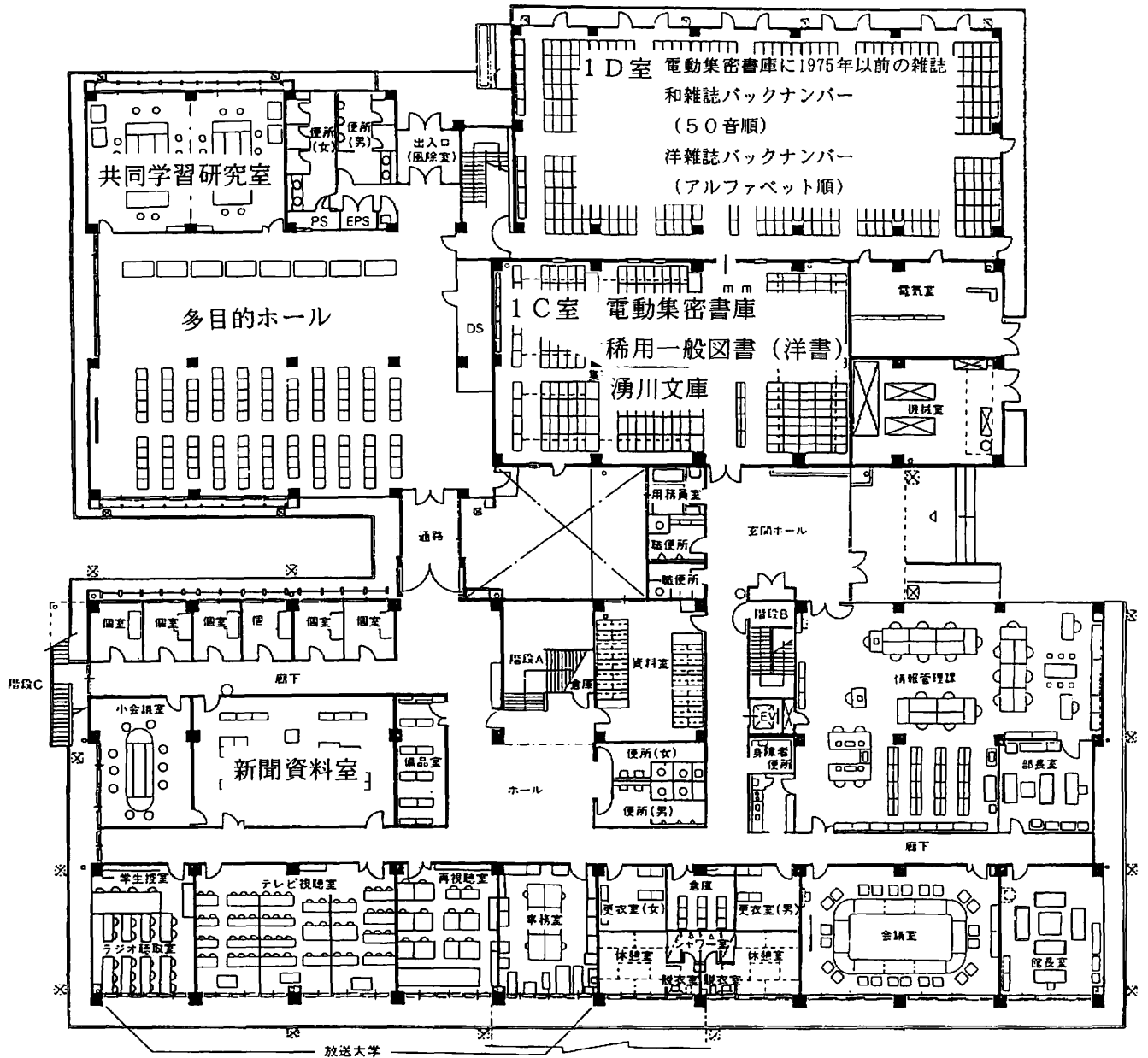
- 3A室 一般図書（和洋書混在配置）
NDC分類 0類～3類
- 3B室 一般図書（和洋書混在配置）
NDC分類 4類～9類
- 3C室 1976年以降洋雑誌バックナンバー
アルファベット順A～D、P～Z
- 3D室 1976年以降洋雑誌バックナンバー
アルファベット順E～O
- 3E室 1976年以降和雑誌バックナンバー
50音順あ～わ
- 3G室 新着雑誌及び国立・私立大学の
紀要類
その他、階段そばのホールに新聞等の
ラウジングコーナーがある。

4. 図書の配列のルール

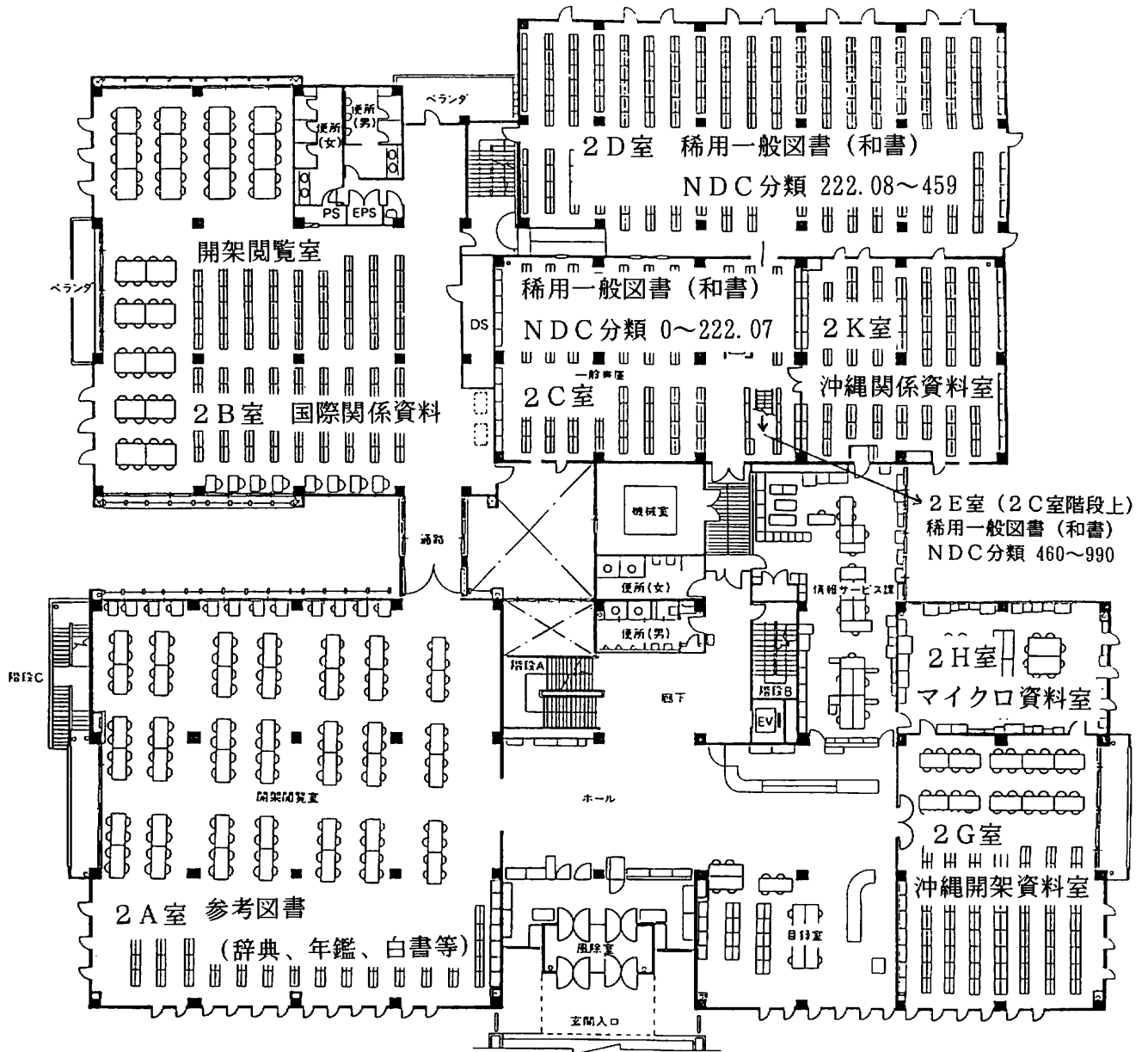
図書の配列（書架への配架）は85cm幅の棚を単位に行っています。まず、書架に向かって一番左側の列の一番上の棚の左端がその面の起点となっており、図書はそこからその棚内の右へ向かってNDC分類番号順（部屋によってはアルファベット順、五十音順）に並べられ、次にその真下の棚へ移り左から右へ、そして、その列の一番下の棚まで続いていきます。次は、その右隣の列の一番上の棚に移り、最下段まで同様に続きます。そして一番右端の列の一番下の棚までいったところで、その面は終わりとなります。書架が背中合わせになっている場合は、さらに裏側に続きます。起点の棚がどこであるかは各部屋のところで確認して下さい。

5. 図書館各階の部屋のレイアウト図

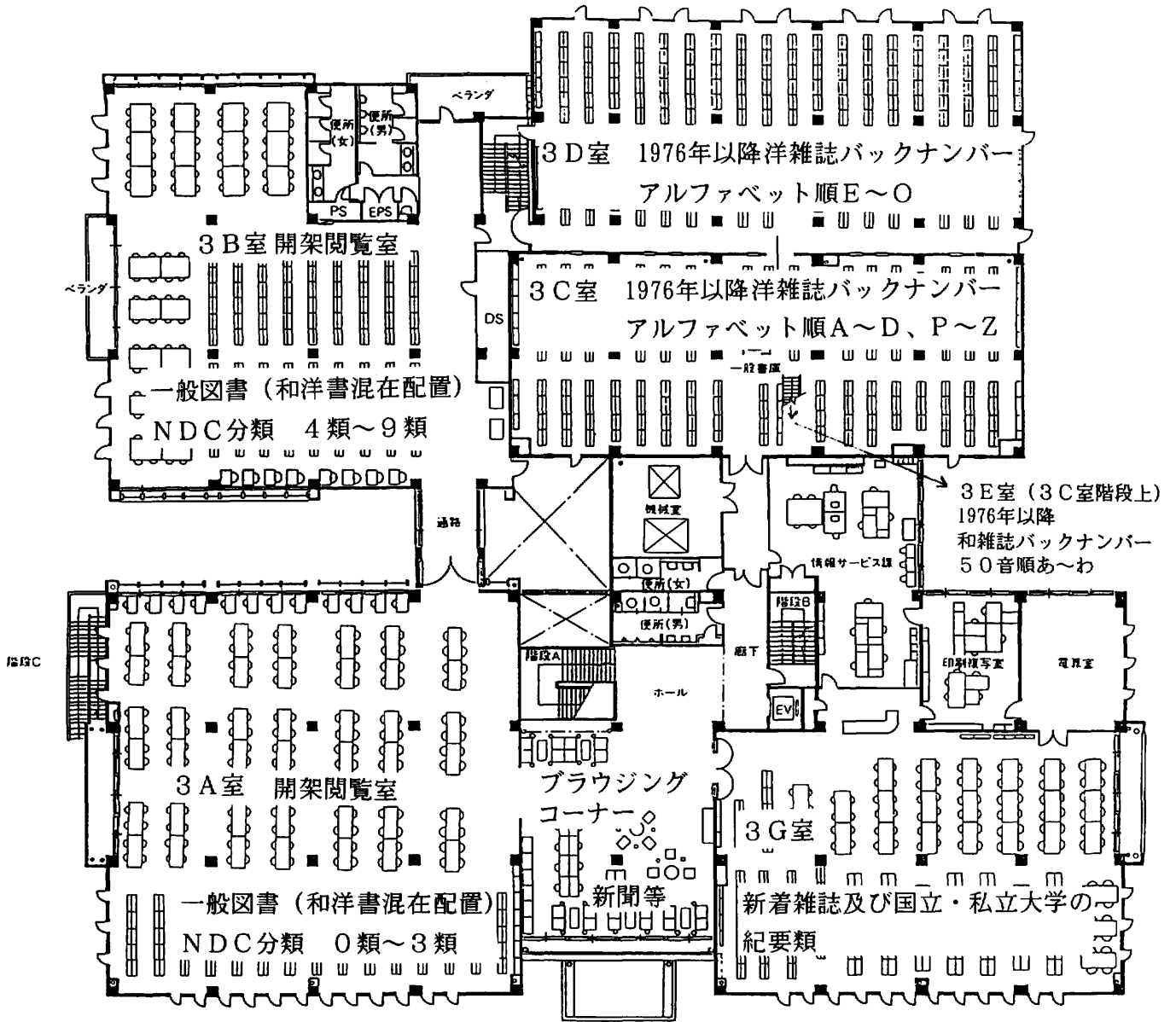
各階の部屋のレイアウト図（平面図）を次ページ以降に示しますので、資料を探す時の参考にして下さい。



1階平面図



2階平面図



3階平面図

沖縄関係資料新着案内

1994年5月～1994年7月

0類 総 記

1. 話のチャンプルー：沖縄雑学読本／兼城
清勇編 沖縄 南風社、1994.3
K049-KA
2. こし方の記：ある基礎医学者の覚え書／大
鶴正満著 西原町（沖縄県）大鶴正満教
授退官記念会、[1989.6] 049-OT
3. 沖縄フリーク：ヒロシマフリーク増刊
West Outdoor Magazine OKINAWA freak
：土居辰彦編 広島 ケイ・ウエスト、
1994.4 K051-DO
4. 沖縄の新聞がつぶれる日／沖縄フリー
ジャーナリスト会議編 那覇 月刊沖縄社、
1994.4 K070.2-OK
5. 琉球王国評定所文書 第9巻／琉球王国評
定所文書編集委員会編 浦添：那覇 浦添
市教育委員会：ひるぎ社（発売）、1988－
093.3-RY
3. 日本史の原点・沖縄史／牧瀬恒二著 第2
刷改定版 東京 本邦書籍、1989.4
K201-MA
4. やさしくまとめた沖縄の歴史／新田重清
[ほか] 著 那覇 沖縄文化社、1994.3
K201-NI
5. 琉球の「国づくり」考／崎間敏勝著 与那
原町（沖縄県）琉球文化歴史研究所、
1994.2（シリーズ「琉球の文化と歴史の
考察」第13） K201-SA
6. ベリーの対日交渉記／藤田忠編著 東京
日本能率協会マネジメントセンター、
1994.3 K201.18-FU
7. 国頭村安田の歴史とシヌグ祭り／宮城鉄行
著 那覇 あけぼの印刷・未来工房、
1993.8 K211-MI
8. 大中誌／大中誌編纂委員会編 名護 大中
誌編纂委員会、1994.1 K215-ON
9. 金武区誌／金武区誌編集委員会編 金武町
[沖縄県] 金武区事務所、1994.3
K218-KI

1類 哲 学

1. 志を立てて：呉屋秀信講話集会報「かね
ひで」より／呉屋秀信著 [西原町（沖
縄県）] 金秀本社、1994.4 K159-GO
2. 琉球列島宗教関係資料総合目録／研究代表
者渡名喜明 宜野湾（沖縄県）：宜野湾
（沖縄県） 榕樹社：緑林堂書店（発売）、
1994.5 K160-RY
3. 祖先祭祀の儀礼構造と民俗／藤井正雄著
東京 弘文堂、1993.2 K162.1-FU
4. On the threshold of the closed empire
：pbk／Edward E. Bollinger Pasadena,
Calif. W. Carey Library, c1991
備考：Includes bibliographical referen-
ces (p. 248-249) K197-BO
10. 奄美の歴史さまざま／山下文武著 住用村
（鹿児島県）奄美文化財団、1994.3
（奄美文庫 2） K219.7-AM
11. 道の島史論：奄美の歴史を考える／前田
長英著 住用村（鹿児島県）奄美文化財
団、1993.3（奄美文庫 1） K219.7-MA
12. 創立五十周年記念誌：中頭郡具志川小学
校復刻版 具志川 具志川市教育委員会、
1993.9（具志川市史編集資料 具志川市史
編さん室編 3） K224-GU
13. 那覇市史：琉球資料 下／那覇市企画部
市史編集室編 那覇 那覇市役所、
1989.9-1991.3 K231-NA

2類 歴 史

1. 沖縄の先史遺跡と文化／高宮廣衛著 東京
第一書房、1994.3 K200.2-TA
2. 追憶のふるさとスケッチ／青山洋二と文
沖縄 [青山洋二]、1991.5 K201-AO
14. しつる村物語／盛山末吉著 鹿児島 高城
書房出版、1993.12 K260-MO
15. 沖縄・ヤマト人物往来録／国吉真永著 東
京 同時代社、1994.5 K280-KU

16. 復帰20年この人：35人が語る沖縄／NHK
沖縄放送局 [編] [豊見城村 (沖縄県)]
NHK沖縄放送局, 1993.12 K280-NI
17. 沖縄に生きる：特攻隊生き残り人生／松
岡一二著 東京：東京 日本図書刊行会：
近代文芸社 (発売), 1994.1 K289-MA
18. 五大州こころの旅路：わが半生つれづれ
の記／松岡みね著 糸満 糸満印刷,
1993.1 K289-MA
19. 大濱信泉の生涯：元早稲田大学総長／長
田亮一著 豊見城村 (沖縄県) [長田亮
一], 1994.2 K289-OH
20. 父奥田愛正追想録：安綾を愛し安綾に生
きた生涯／平田暉子編 名瀬 平田暉子,
1991.11 289-OK
21. 沖縄県民斯克戦ヘリ：大田実海軍中将一
家の昭和史／田村洋三著 東京 講談社,
1994.3 K289-TA
22. 風の吹くままに：出でてはまた環る／照
屋喜三著 那覇 おおみち出版社,
1993.11 K289-TE
23. 四十年の軌跡／當山全俊著 [南風原町
(沖縄県)] [當山全俊], 1991.11
289-TO
24. 五風十雨の夢遙か／上津保著 沖縄,
1993.2 K289-UE
25. 親と師と友：わたしの足跡／上間政春著
沖縄 [上間政春], 1986.4 K289-UE
26. 日々草：山田鐵之助自伝／山田鐵之助著
石垣市 ミル出版, 1994.5 K289-YA
27. 大樹の如く／米盛博和米盛博明著 沖縄,
1990.7 K289-YO
28. 追いかけて、イリオモテヤマネコ／横塚眞
己人文・写真 東京 宝島社, 1994.5
K290-YO
29. ゼンリン住宅地図'94 沖縄県 宜野湾市
他ゼンリン, 1994.3 290.38-ZE
30. ゼンリン住宅地図'94 沖縄県 糸満市他
ゼンリン, 1994.4 290.38-ZE
31. ゼンリン住宅地図'94 沖縄県 沖縄市他
ゼンリン, 1994.6 K290.3-Z3
32. ゼンリン住宅地図'94 沖縄県 国頭村他
ゼンリン, 1994.7 K290.38-Z3
33. ゼンリン住宅地図'94 沖縄県 石垣市
ゼンリン, 1994.5 K290.38-Z3
34. 沖縄観光ガイド 那覇 りゅうぎん国際化
振興財団, 1993.8 K290.9-OK
- 3類 社会科学
1. 沖縄海嘯：歴史の岐路からいまを見る／
玉城成美編集責任 西原町 (沖縄県) 琉
球大学法文学部江上ゼミナール, 1993.4
K302-TA
2. 沖縄「旗めいわく」裁判記／下嶋哲朗著
東京 社会評論社, 1994.3 302.199-SH
3. ふるさと物語／青山洋二著 2刷 沖縄
[青山洋二], 1992.1 304-AO
4. 沖縄文化の源流を探る：環太平洋地域の中
の沖縄／「復帰20周年記念沖縄研究国際
シンポジウム」実行委員会編 那覇 「復
帰20周年記念沖縄研究国際シンポジウム」
実行委員会, 1994.3 K304-FU
5. 情報と非の概念：心が生きる思想設計図
／長浜博文著 那覇 沖縄社会研究所,
1994.2 K304-NA
6. 他策ナカリシヲ信ゼムト欲ス／若泉敬著
東京 文芸春秋, 1994.5 K319.1053-WA
7. 核の科学と平和：核兵器ゼロの新しい世
紀を／琉球大学核の科学教材研究会 [編]
第2版 西原町 (沖縄県) 核の科学教
材研究会, 1994.3 K319.8-RY
8. 冤罪と国家賠償：沖縄ゼネスト松永国賠
裁判／松永国賠を闘う会著 東京 緑風出
版, 1994.4 K323.96-MA
9. 華南経済圏と沖縄：連結をめざして／富
川盛武著 東京 近代文芸社, 1994.3
K332.223-TO
10. Uchinanchu, a history of Okinawans in
Hawaii/Ethnic Studies Oral History
Project, United Okinawan Association
of Hawaii Honolulu Ethnic Studies
Program, University of Hawaii at
Manoa,

c1981
備考:Bibliography:p. [577]—589:Includes indexes K334.4-ET

11. 日系ブラジル移民史／高橋幸春著 東京 三一書房, 1993.10 K334.462-TA

12. 遊びの経営学沖繩編／大城光雄著 那覇 光データシステム, 1994.6 K335.1-OS

13. 国際化時代・島空間の可能性の探求／竹田秀輝編 那覇 沖繩時事出版, 1994.4 K337-TA

14. 天皇の逝く国で／ノーマ・フィールド [著] 大島かおり訳 東京 みすず書房, 1994.2 K361.5-FI

15. 学園に愛とロマンを求めて: 私の教育日誌／大西照雄著 南風原町(沖繩県) あげほの印刷, 1993.12 370.4-ON

16. 歴史地理教育実践選集 23／歴史教育者協議会編 東京 新興出版社, 1992.9 K375.3-RE

17. 性(エイズを含む)教育指導の手引き／沖繩県教育委員会[編] [那覇] 沖繩県教育委員会, 1993.5—1993.11 K375.49-OK

18. 琉球大学発展への道: 現状と課題／琉球大学自己評価委員会編 西原町(沖繩県) 琉球大学, 1994.2 K377.2-RY

19. トートーメーの継ぎ方／又吉正治著 宜野湾 家族療法研究所, 1994.3 (琉球文化の精神分析 3) 380.4-MA

20. 海神の贈物: 民俗の思想／谷川健一著 東京 小学館, 1994.3 K380.4-TA

21. 日本民俗文化資料集成 13上／谷川健一編 東京 三一書房, 1994.1 K382.1-TA

22. 南日本の民俗文化: 5 小野重朗著作集／小野重朗著 東京 第一書房, 1994.3 K382.19-ON

23. トカラ列島民俗誌／下野敏見著 東京 第一書房, 1994.3 K382.197-SH

24. 火と水の民俗文化誌／古家信平著 東京 吉川弘文館, 1994.3 (日本歴史民俗叢書) K382.199-FU

25. 沖繩祭祀の研究／高阪薫[ほか]編 東京 林書房, 1994.4 K386-TA

26. 海辺の聖地: 日本人と信仰空間／上田篤著 東京 新潮社, 1993.5 (新潮選書) K387-UE

4類 自然科学

1. 琉球の清流: リュウキュウアユがすすめる川を未来へ／池原貞雄諸喜田茂充編著 浦添 沖繩出版, 1994.6 K452.94-IK

2. 島の植物誌: 進化と生態の／伊藤秀三著 東京 講談社, 1994.4 (講談社選書メチエ 16) K472.615-IT

3. あざやかな虫たちのひみつ／湊和雄文・写真 東京 大日本図書, 1994.2 (虫がいっぱい! 南の島) K486-SO

4. わたってきた虫たちのなぞ／湊和雄文・写真 東京 大日本図書, 1994.2 (虫がいっぱい! 南の島) K486-SO

5. 集まる虫たちのふしぎ／湊和雄文・写真 東京 大日本図書, 1994.2 (虫がいっぱい! 南の島) K486-SO

6. 大きな虫たちのせかい／湊和雄文・写真 東京 大日本図書, 1994.2 (虫がいっぱい! 南の島) K486-SO

7. 森の中のかくれんぼ／湊和雄文・写真 東京 大日本図書, 1994.2 (虫がいっぱい! 南の島) K486-SO

8. 魚: おもしろハンドブック／泉見亨著 南風原町(沖繩) EPOCH, 1993.10 K487.5-IZ

9. うちな一健康歳時記／沖繩県医師会 那覇 沖繩県医師協同組合, 1994.4 K498-OK

10. 沖繩の保健婦たち／沖繩県保健婦長会編 那覇 ひるぎ社, 1994.2 (おきなわ文庫 68/a) 498.184-OK

5類 工学

1. ドキュメント日本の公害学 8／川名英之著 東京 緑風出版, 1993.1 K519.21-KA

2. 南国の住まい／宮澤智士著 東京 INAX, 1993.12 (INAX ALBUM 19 日本列島民家の旅)

- K521.86-MI
3. 首里城：甦る琉球王国 [那覇] 海洋
博覧会記念公園管理財団, 1992.11
- K526.2-SH
- 6 類 産 業
1. ヒヤミカチ華やかちシマおこし：自ら考
え自ら行う地域づくり 那覇 沖縄県総務
部地方課, 1994.3 K601.199-OK
2. 未来を拓く／北中城村農業協同組合 [編]
北中城村 (沖縄県) 北中城村農業協同組
合, 1994.3 611.6-KI
3. 家族制農業の推転過程：ケニア・沖縄に
みる慣習と経済の間／杉原たまえ著 東京
日本経済評論社, 1994.2
(現代の危機を考える 2) K611.7-SU
4. ミカンコミバエ根絶後の再侵入と対策／沖
縄県ミバエ対策事業所編 那覇 沖縄県ミ
バエ対策事業所, 1994.3 615.86-OK
5. 沖縄県ミバエ根絶記念誌／沖縄県農林水産
部編 [那覇] 沖縄県農林水産部,
1994.1 K615.86-OK
6. 日本の市場／小玉節郎文 乙咩雅一写真
東京 洋泉社, 1990.2
(ひとり歩きシリーズ 4) K675.5-KO
7. 琉球山原 (やんばる) 船水運の展開／池野
茂著 宜野湾 ロマン書房本店, 1994.1
K683.2199-IK
8. 笑う！うちなーぐちFAX小全／ラジオ沖
縄「前田すえこのいいことありそうなウ
イークエンド」編 那覇 ボーダーインク,
1994.6 K699.6-RA
- 7 類 芸 術
1. ひめゆりたちの沖縄戦／ほしさぶろう漫画
中沢秀夫編 桶川 中沢秀夫, 1994.2
K726-HO
2. 山原バンバン／大城ゆか著 沖縄 ボー
ダーインク, 1994.3 K726-OS
3. 島燃ゆ：宮古島人頭税物語／新里堅進翻
案・作画 平良 宮古広域圏事務組合,
1993.11 K726-SH
4. 伊志嶺隆遺作集／伊志嶺隆 [著] 豊見城
村 (沖縄県) 伊志嶺隆遺作集実行委員
会, 1994.3 748-IS
5. 戦後コザにおける民衆生活と音楽文化／沖
縄国際大学文学部社会学科石原ゼミナール
編 宜野湾 [沖縄国際大学文学部社会学
科石原ゼミナール], 1994.3 760.2-OK
6. 奄美島唄楽譜集／広瀬輝夫著 東京 音楽
之友社, 1992.10 K760.9-HI
7. わんから：即自独楽／加藤登紀子著 東
京中央法規出版, 1994.1 K767.8-KA
8. 無人島へ行こう：共和国「こんがりここ
なつ島」の350日／上柿和生編著 東京
窓社, 1993.7 K786-UE
9. 古伝琉球唐手術／岩井作夫著 東京 愛隆
堂, 1992.12 K789.2-IW
10. 本部朝基正伝：琉球拳法空手術達人／小
沼保編著 川口 壮神社, 1993.5
K789.2-KO
11. 日本傳流兵法本部拳法／本部朝基著 拡大
復刻版 川口 壮神社, 1994.4 789.2-MO
12. 松涛館再建十周年記念論文集／高橋秀年編
東京 日本空手道松涛會, 1985.10
K789.2-TA
13. 松涛館五十年のあゆみ／照井德行編 東京
日本空手道松涛會, 1985.10 K789.2-TE
14. 船越義珍先生空手本土普及七十年記念／照
井德行編集 東京 集峰美術 [印刷]：日
本空手道松涛會 [発行], 1992.10
K789.2-TE
15. 沖縄の空手道：その理論と技法 北谷町
(沖縄県) 上地流空手道協会北谷修武館,
1984.11 K789.2-UE
- 8 類 語 学
1. 琉球圏生活語の研究／本永守靖著 東京
春秋社, 1994.1 880-MO
2. 百姓官話全訳／瀬戸口律子著 東京 明治
書院, 1994.3 K890-SE
- 9 類 文 学
1. 琉書探求／仲程昌徳著 東京 新泉社,
1990.10 (Books on Books) K902-NA
2. 琉歌大成 解説・索引編／清水彰編著

- 覇 沖縄タイムス社、1994.2 913-SH
 3. 琉歌大成 本文校異編／清水彰編著 那覇
 沖縄タイムス社、1994.2 913-SH
 4. 海の鮮血：喜納正信歌集／喜納正信著
 那覇 脈発行所、1993.2 915-KI
 5. 地獄めぐり：仲本彩泉句集／仲本彩泉著
 那覇 脈発行所、1992.4
 (沖縄現代俳句文庫 6) K916-NA
 6. 秀句鑑賞：「タイムス俳壇」10年：1976
 年～1985年／野ざらし延男編 北谷町（沖
 縄県）：那覇 野ざらし延男：沖縄学販
 (発売)、1994.6 K916-NO
 7. 地球の耳：おおしろ建句集／おおしろ建
 著 那覇 脈発行所、1994.1
 (沖縄現代俳句文庫 4) K916-OS
 8. 句集辺土岬／新城 太石著 那覇市 新城
 太石顕彰実行委員会、1994.2 K916-SH
 9. 胸の高巢：川満孝子句集／川満孝子著
 覇 脈発行所、1993.12
 (沖縄現代俳句文庫 2) 916-KA
 10. 守礼之邦：垣花昌璋句集／垣花昌璋著
 南風原町（沖縄県） 那覇出版社、1988.3
 916-KA
 11. 弾奏：よなは景子句集／よなは景子著
 那覇 脈発行所、1993.11
 (沖縄現代俳句文庫 10) 916-YO
 12. 夏の伝説：鳩間森詩集／鳩間森著 那覇
 脈発行所、1994.5
 (新沖縄現代詩文庫 1) K917-HA
 13. マスクのプロムナード：詩集／星雅彦著
 東京 花神社、1993.12 917-HO
 14. 世紀末のラブレター／川満信一著 那覇
 エポック、1994.5 K917-KA
 15. 綿雲：詩集／大浜孫佑著 石垣 大浜孫
 佑、1988.12 917-OH
 16. 越える：詩集：わがカミうた／高良勉著
 覇 ニライ社、1994.3 K917-TA
 17. さらば福州琉球館／大城立裕著 東京 朝
 日新聞社、1994.3 K930-OS
 18. リーフの彼方／高弥直著 東京 日本図書
 刊行会、1994.2 K930-TA
 19. 沖縄戦：焼土からの出発／前田正敏著
 糸満 前田正敏、1988.11 K940-MA
 20. 灯火たやさず：奄美群島祖国復帰40周年
 に／西シガ子著 南風原町（沖縄県） あ
 けぼの印刷・未来工房、1990.12 K940-NI
 21. 綾門（あやじょう）／沖縄エッセイストク
 ラブ [編] 那覇 ひるぎ社、1994.4（沖
 縄エッセイストクラブ作品集 11）
 K940-OK
 22. 一語一笑／島元巖著 那覇 文教商事、
 1994.2 K940-SH
 23. 米国女性の沖縄滞在記：ブランチェ ティ
 ルトン プル 日記 1911～1913／キャロリ
 ン・ポーエン・フランシス編著 村椿梢子訳
 那覇 ひるぎ社、1994.1 K950-BU
 24. 皇軍慰安所の女たち／川田文子著 東京
 筑摩書房、1993.8 K950-KA
 25. 沖縄戦争マラリア事件：南の島の強制疎
 開／毎日新聞特別報道部取材班著 大阪
 東方出版、1994.6 K950-MA
 26. 沖縄戦：民衆の眼でとらえる「戦争」／
 大城将保著 改訂版 東京 高文研、
 1988.10 K950-OS
 27. ちーちゃんの沖縄戦／親里千津子著 那覇
 ニライ社、1994.6 K950-OY
 28. 沖縄の珍事件簿／野菜童著 大里村（沖縄
 県） わらべ書房、1994.5 K950-YA
 29. ひめゆり忠臣蔵／吉田司著 改訂再版 東
 京 太田出版、1994.4 K950-YO
 30. 山田次郎遺稿集／山田義一編 沖縄 沖縄
 自分史センター、1992.5 K960-YA
 31. 沖縄文学全集 第11巻／沖縄文学全集編集
 委員会編 東京 国書刊行会、1990.7ー
 K980-OK

注) 各資料末尾の記号は請求記号です。

お知らせ

◎ コンテンツ・シートサービスのご案内

次年度、新規の申し込みを受け付けます。コンテンツ・シートサービスは学術雑誌が図書館に到着すると同時にその目次部分を複写してお届けするサービスです。

料金は有料で、一枚13円です。お申し込みは、原則として校費移算が可能な教官（または学科・講座等の単位）に限ります。現登録者に対しては次年度継続の希望確認を後日行います。詳細は参考調査係（内線2143・2145）へお問い合わせください。

◎ 講演会のご案内

沖縄県大学図書館協議会では、県内外の学識者による講演会を毎年実施しておりますが、今回は法文学部 高良倉吉 助教授に講師をお願いしました。どなたも自由に参加できますので、ご来館下さい。

日時：1994年11月11日（金） 15：00～

場所：附属図書館 多目的ホール

講師：高良倉吉

演題：「琉球の海外貿易と資料について」 （主管：参考調査係・内線2143）

◎ 展示会の開催について

10月24日（月）から11月4日（金）まで一階多目的ホールにおいて仲宗根政善文庫（今帰仁方言資料等）の展示会を開催します。

（窓口：資料サービス係）

◎ 多目的ホールの使用開始について

増築しました新館の1階に多目的ホール（100席収容）ができました。11月7日

（月）から利用申込を受け付けます。主として図書館及び学術教育に関する行事に使用できます。

（窓口：資料サービス係）

◎ 共同学習研究室の使用開始について

多目的ホールに隣接して北側（生協側）に共同学習研究室が2室（各12名収容）設置されました。図書館の資料等を利用してグループで共同学習することができます。

10月12日（火）より利用申込を受け付けます。

（窓口：資料サービス係）

本学教官著作寄贈図書案内

1994年5月～1994年7月

島袋 哲 (教育学部)

高良 倉成 (教育学部)

現代教育の法制と課題／田原迫竜磨編著 第一法規, 1994.4
373.2-TA

世界システムの現代的構造／本多健吉、神保博彦編 日本評論社, 1994.3 333.6-HO

注) 各資料末尾の記号は請求記号です。

図書館事情

1. 第2回附属図書館自己評価委員会

日時：平成6年7月15日(火)

15:10 ~ 16:00協議事項

- (1) 附属図書館自己点検・評価報告書の作成について

- (2) その他

2. 第3回附属図書館自己評価委員会

日時：平成6年9月6日(水)

15:10 ~ 16:45

協議事項

- (1) 附属図書館自己点検・評価報告書(案)について

- (2) その他

3. 附属図書館増築竣工式典

日時：平成6年9月8日(木)

11:40 ~ 12:10

場所：附属図書館 多目的ホール

また、同日16:00時から県内大学図書館関係者を招いて施設の披露を行った。

4. 第204回附属図書館運営委員会

日時：平成6年10月13日(木)

15:10 ~ 16:00

場所：附属図書館会議室

協議事項

- (1) 自己点検・評価報告書(案)について

- (2) その他

報告事項

- (1) 1995年版外国雑誌の予約について
- (2) 学術雑誌目次速報データベースの形成事業への参加について
- (3) その他

医学部分館だより

◎第32回医学部分館運営委員会

日時：平成6年7月8日（金）16:00～17:00

議題：コアジャーナルの見直しについて

岩掘修明（長崎大学）

小林利次（産業医科大学）

秋谷 孝（J I C S T九州支所長）

コーディネーター：

朝倉 一（日本医学図書館協会名誉顧問）

◎第42回九州地区医学図書館協議会総会

第42回九州地区医学図書館協議会総会が福岡歯科大学図書館の当番で下記のとおり開催され、医学部分館から分館長、専門員、資料サービス係長が出席しました。

日時：平成6年8月26日（金）13:30～

会場：ガーデンパレス会議室

協議題：

1. 共通利用ガイド（英文版）の作成について
2. 九州地区医学図書館協議会総会次期当番館について
3. 来年度九州地区医学図書館員セミナー担当館について
4. J M L A重複雑誌交換業務担当館について

報告事項：

第5回医学図書館員セミナーについて

パネルディスカッション

医学系図書館の情報の流通システムを考える

パネリスト：

◎製本雑誌の配置換え

製本雑誌の配置換えを行いました。2階集密書庫には古い洋製本雑誌（1987年以前）のみが配架されています。古い和製本雑誌（1978年以前）は2階閲覧室の書庫手前、以前は洋製本雑誌N以降が配架されていた場所に移動しました。

1階閲覧室の新しい洋製本雑誌（1988年以降）と新しい和製本雑誌（1979年以降）の配架場所は変わりませんが、洋雑誌の対象年度が変わったことにご注意ください。

詳しくは書架に掲示してありますので、その表示を参考にしてください。



琉球大学附属図書館報 “びぶりの” 第27巻 第4号（通巻第104号）

平成6年10月発行

発行 琉球大学附属図書館 〒903-01 沖縄県中頭郡西原町千原1番地

電話 098(895)2221 内線 (2143) 編集 びぶりの編集委員会